

《Ⅲ 竹原市からの転出者を対象とした意識調査》

Ⅲ－1 結果概要

1 あなたご自身について

資料「1 回答者の属性」参照

2 転出前後・転出時の状況について

「問3 転出前後の家族の人数、子どもの人数」、「問4 転出前後のお住まい」

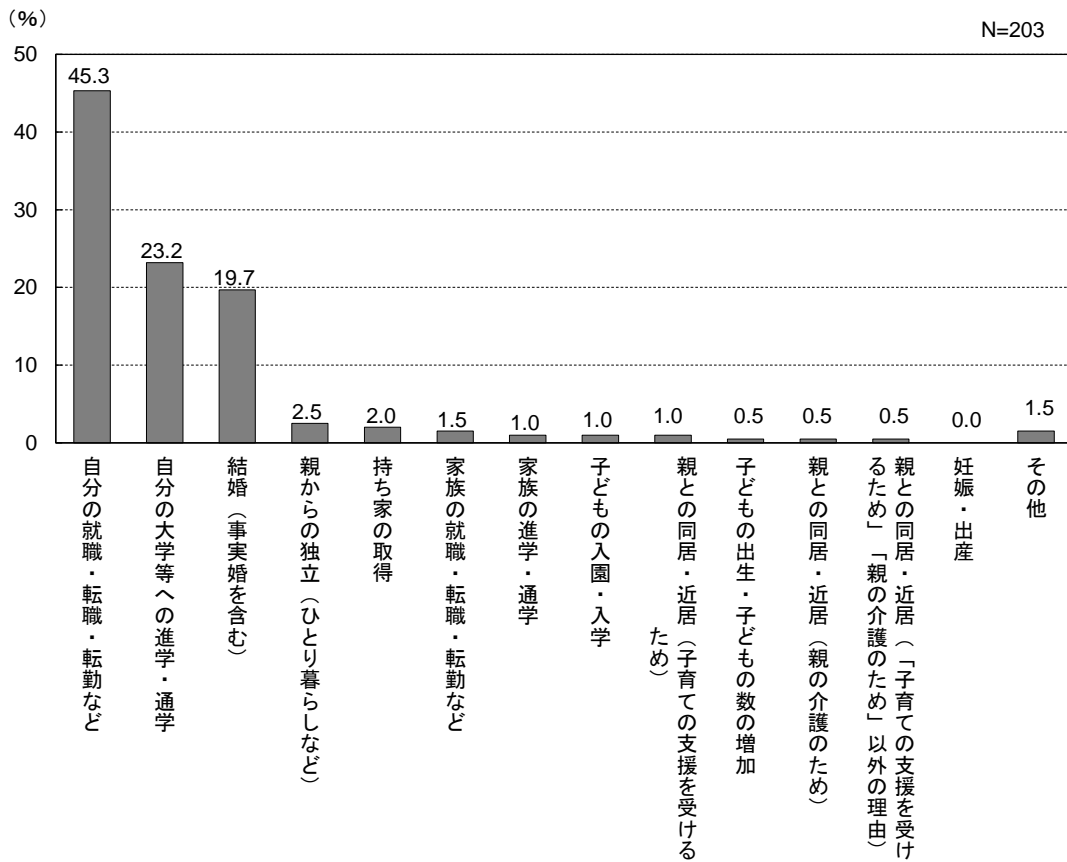
資料「2 転出前後・転出時の状況について」参照

問5 すべての方にお聞きます。

竹原市から転出されることになった理由についてご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

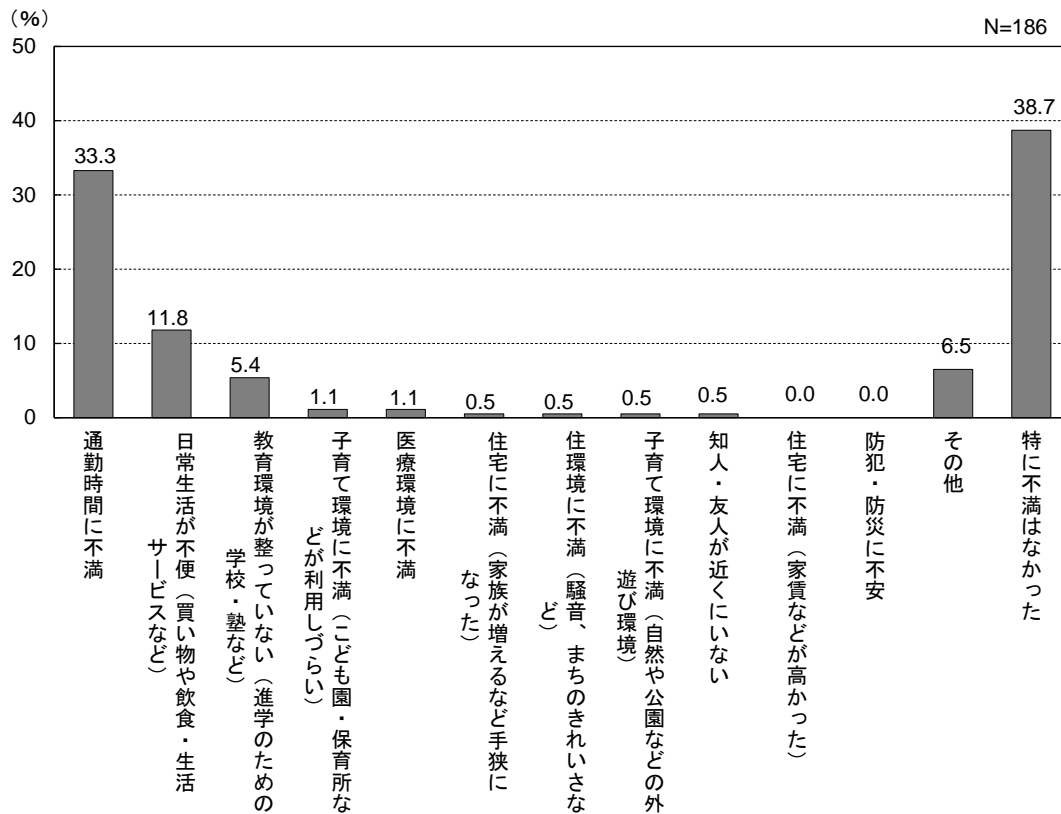
竹原市から転出した理由について聞いたところ、ライフステージの変化に関する理由(図Ⅲ－1)では、「自分の就職・転職・転勤など」(45.3%)という回答が最も多く、約半数あり、次いで、「自分の大学等への進学・通学」(23.2%)、「結婚(事実婚を含む)」(19.7%)という回答が多い。

図Ⅲ－1 竹原市から転出した理由【ライフステージの変化に関する理由】(単数)



住宅・住環境に関する理由（図Ⅲ－２）では、「特に不満はなかった」（38.7%）という回答が最も多く、約4割あり、次いで、「通勤時間に不満」（33.3%）、「日常生活が不便（買い物や飲食・生活サービスなど）」（11.8%）という回答が多い。

図Ⅲ－２ 竹原市から転出した理由【住宅・住環境に関する理由】（単数）



問6 すべての方にお聞きします。

転出先を決める際に考慮されたことについてご回答ください。(考慮順に1～3位の枠内に番号を記入)

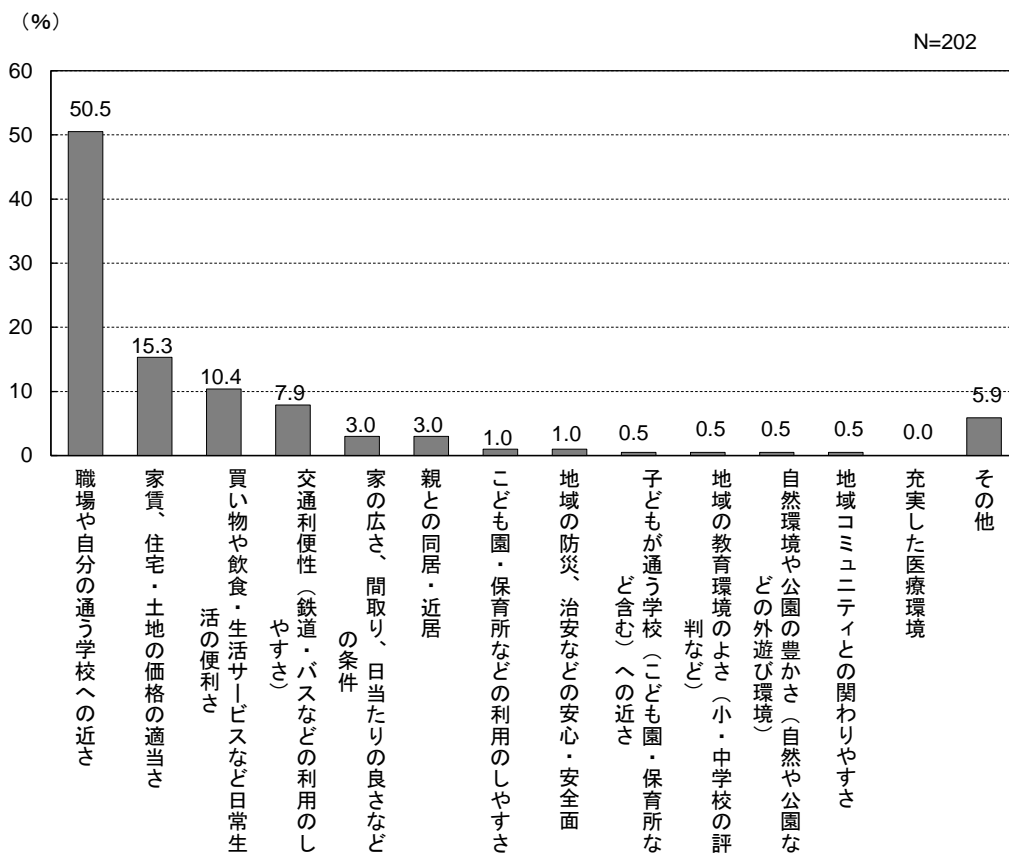
転出先を決める際に考慮したことについて聞いたところ、考慮順1位(図Ⅲ-3)では、「職場や自分の通う学校への近さ」(50.5%)という回答が最も多く、半数を超え、次いで、「家賃、住宅・土地の価格の適当さ」(15.3%)という回答が多い。

考慮順2位(図Ⅲ-4)では、「家賃、住宅・土地の価格の適当さ」(24.9%)という回答が最も多く、次いで、「買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の便利さ」(19.6%)という回答が多い。

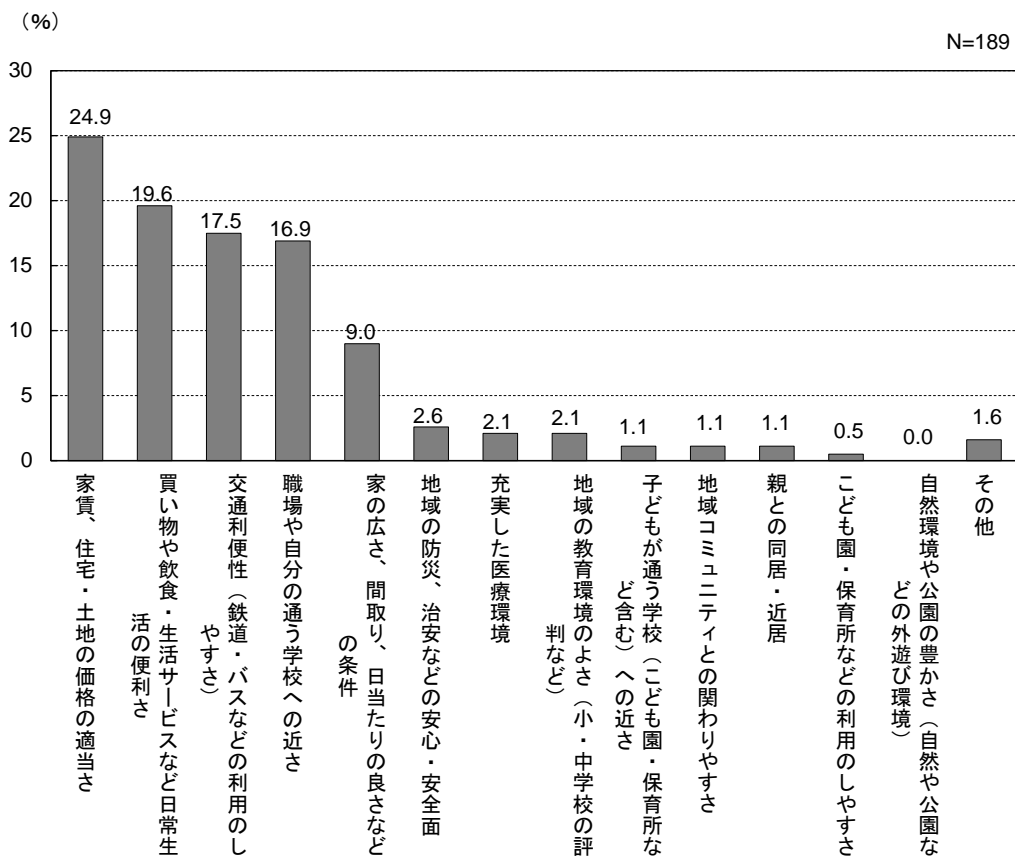
考慮順3位(図Ⅲ-5)では、「買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の便利さ」(27.1%)という回答が最も多く、次いで、「交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)」(20.2%)という回答が多い。

考慮順1～3位を合わせると(図Ⅲ-6)、「職場や自分の通う学校への近さ」という回答が最も多く、次いで、「家賃、住宅・土地の価格の適当さ」、「買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の便利さ」、「交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)」という回答が多い。

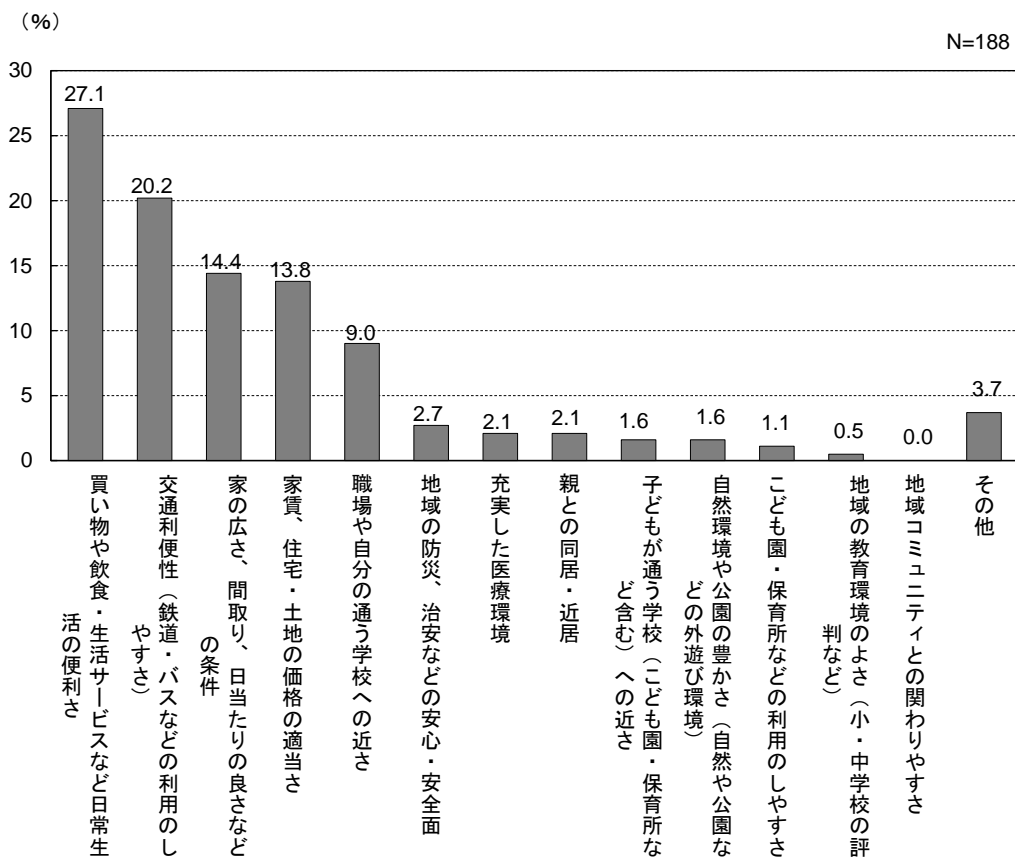
図Ⅲ-3 転出先を決める際に考慮したこと【1位】(単数)



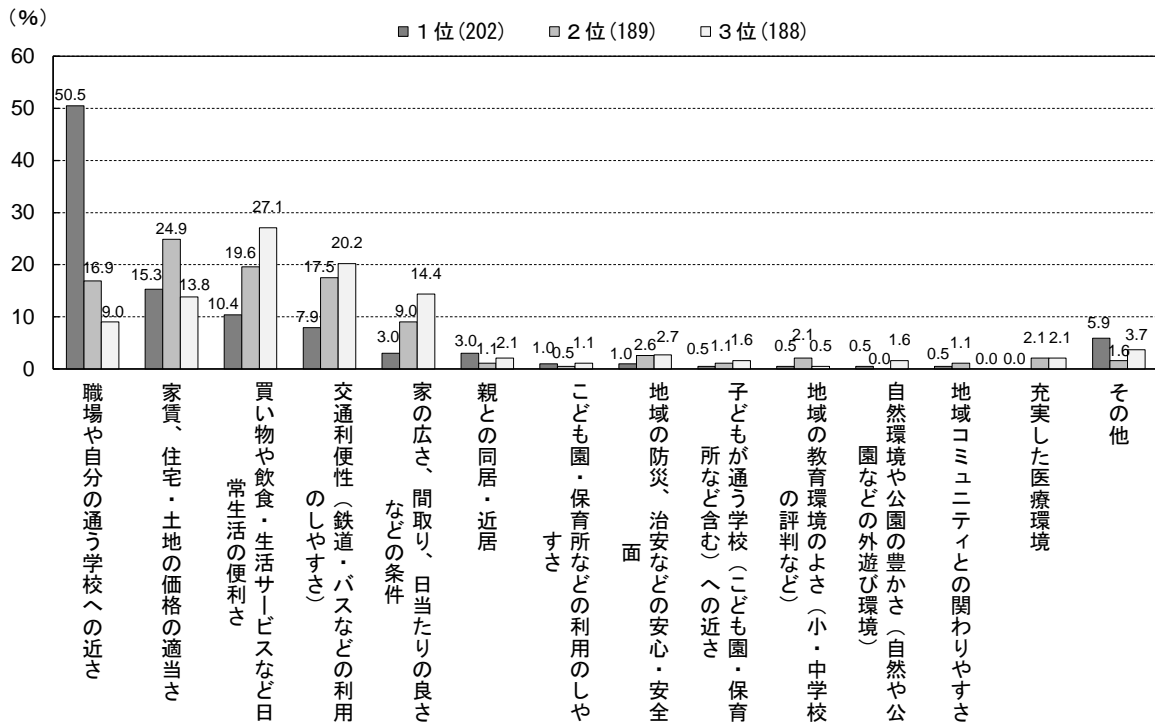
図Ⅲ－４ 転出先を決める際に考慮したこと【2位】(単数)



図Ⅲ－５ 転出先を決める際に考慮したこと【3位】(単数)



図Ⅲ－６ 転出先を決める際に考慮したこと【1～3位】(単数)



3 就業と地域選択について

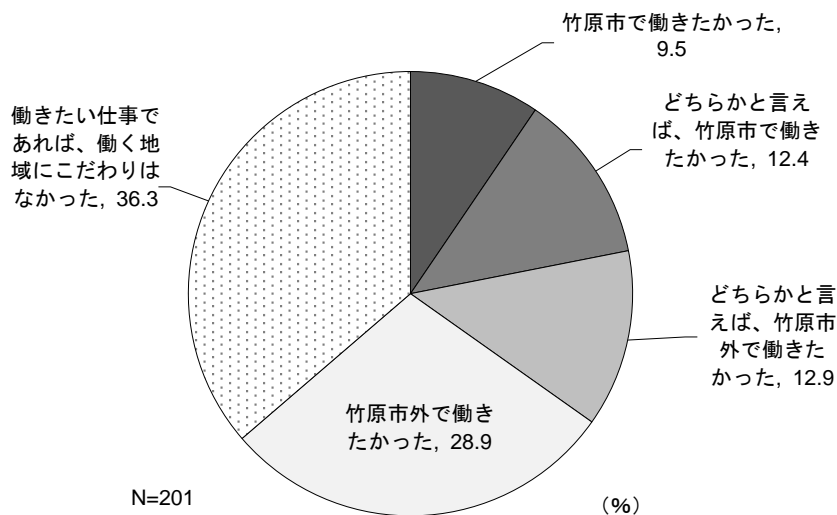
問7 現在働いている方、これまで働いたことがある方、また、これから就業希望がある方にお聞きします。
 高校や大学等の卒業後、初めて就業する地域について、あなたは「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから就業を希望される方は、現在の希望をご回答ください。

初めて就業する地域の希望（図Ⅲ－7）について聞いたところ、「働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりはなかった」（36.3%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市外で働きたかった」（28.9%）という回答が多い。

「竹原市外で働きたかった」（28.9%）又は「どちらかと言えば、竹原市外で働きたかった」（12.9%）という回答の合計は、41.8%で、4割を超える。

一方、「竹原市で働きたかった」（9.5%）又は「どちらかと言えば、竹原市で働きたかった」（12.4%）という回答の合計は、21.9%で、約2割ある。

図Ⅲ－7 初めて就業する地域の希望（単数）

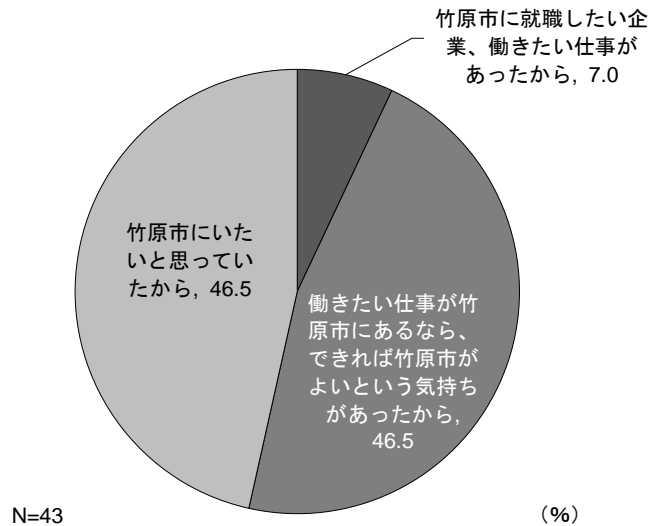


問8 問7で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きます。

竹原市で働きたかった理由についてご回答ください。

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、竹原市で働きたかった理由（図Ⅲ-8）では、「働きたい仕事があるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから」（46.5%）、「竹原市にいたいと思っていたから」（46.5%）という回答が最も多い。

図Ⅲ-8 竹原市で働きたかった理由（単数）

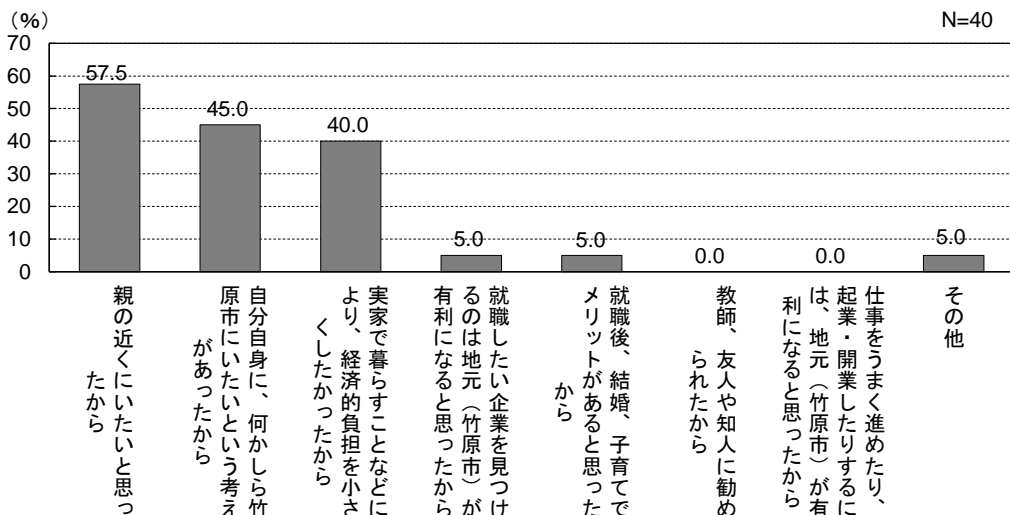


問9 問8で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（図Ⅲ-9）では、「親の近くにいたいと思ったから」（57.5%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（45.0%）、「実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから」（40.0%）という回答が多い。

図Ⅲ-9 「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（複数）

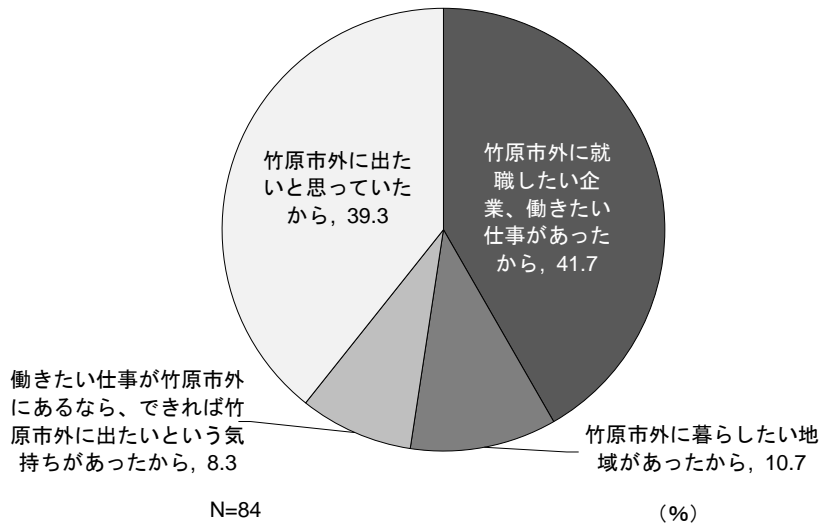


問 1 0 問 7 で「 3 .」または「 4 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

竹原市外で働きたかった理由についてご回答ください。

竹原市外で働きたかった理由（図Ⅲ－ 1 0）では、「竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから」（41.7%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市外に出たいと思っていたから」（39.3%）という回答が多い。

図Ⅲ－ 1 0 竹原市外で働きたかった理由（単数）

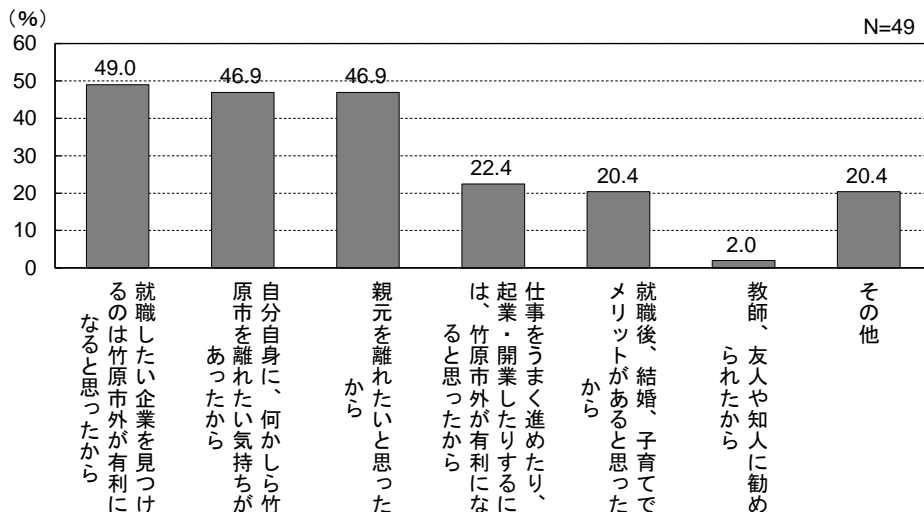


問 1 1 問 1 0 で「 2 .」～「 4 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

「竹原市外に出たい」と思った理由（図Ⅲ－ 1 1）では、「就職したい企業を見つけるのは竹原市外が有利になると思ったから」（49.0%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから」（46.9%）、「親元を離れたいと思ったから」（46.9%）という回答が多い。

図Ⅲ－ 1 1 「竹原市外に出たい」と思った理由（複数）



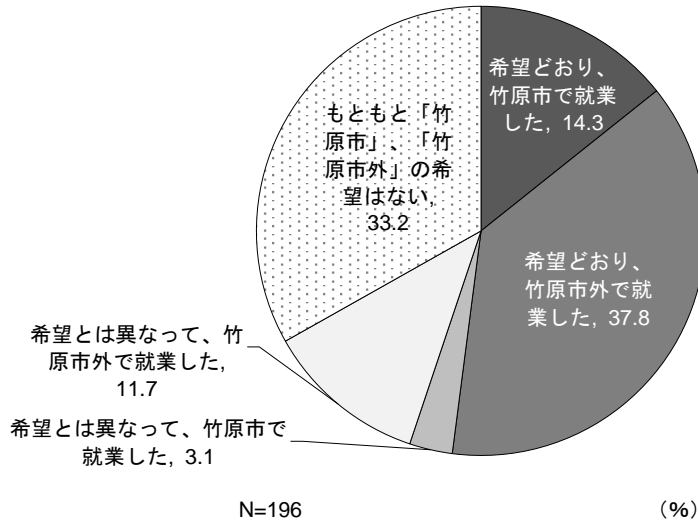
問 1 2 現在働いている方、これまで働いたことがある方にお聞きます。

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、就業した地域は希望どおりでしたか。

就業した地域の希望の実現について聞いたところ（図Ⅲ－１２）、「希望どおり、竹原市外で就業した」（37.8%）という回答が最も多く、次いで、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（33.2%）という回答が多い。

「希望とは異なって、竹原市外で就業した」という回答は、11.7%で、約1割ある。

図Ⅲ－１２ 就業した地域の希望の実現（単数）

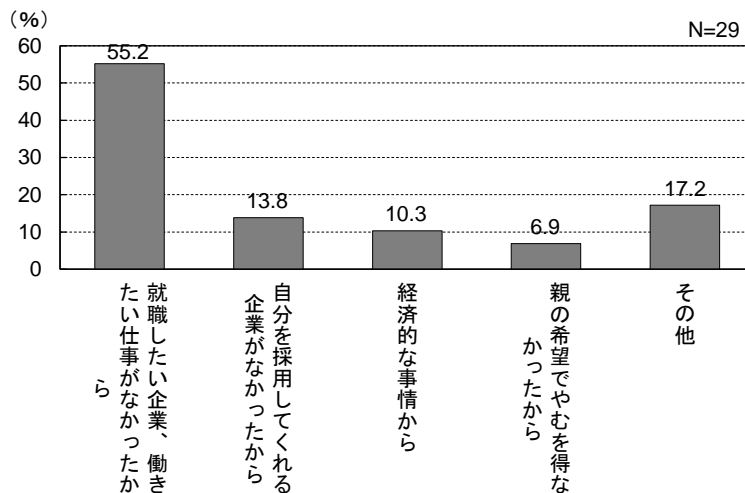


問 1 3 問 1 2 で「 3 .」または「 4 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

希望どおりにならなかった理由をご回答ください。（○印はいくつでも）

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、就業した地域が希望どおりにならなかった理由（図Ⅲ－１３）では、「就職したい企業、働きたい仕事なかったから」（55.2%）という回答が最も多い。

図Ⅲ－１３ 就業した地域が希望どおりにならなかった理由（複数）



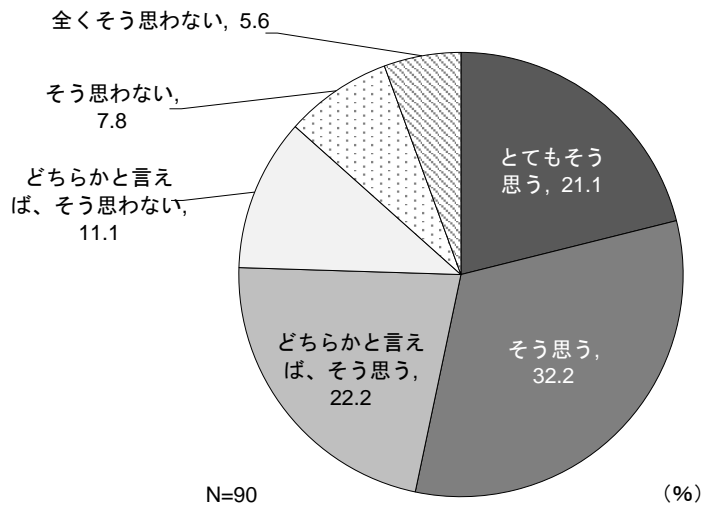
問 1 4 就業を機に竹原市から転出された方にお聞きます。

もし、自分らしいと思える仕事や働きたい職種が竹原市にあれば、竹原市で暮らしてもよかったと思えますか。

自分らしいと思える仕事や働きたい職種があった場合の竹原市居住の意向について聞いたところ（図Ⅲ－14）、「そう思う」（32.2%）という回答が最も多く、次いで、「どちらかと言えば、そう思う」（22.2%）、「とてもそう思う」（21.1%）という回答が多い。

「とてもそう思う」（21.1%）、「そう思う」（32.2%）、又は「どちらかと言えば、そう思う」（22.2%）という回答の合計は、75.5%で、7割を超える。

図Ⅲ－14 自分らしいと思える仕事や働きたい職種があった場合の竹原市居住の意向（単数）



4 結婚と地域選択について

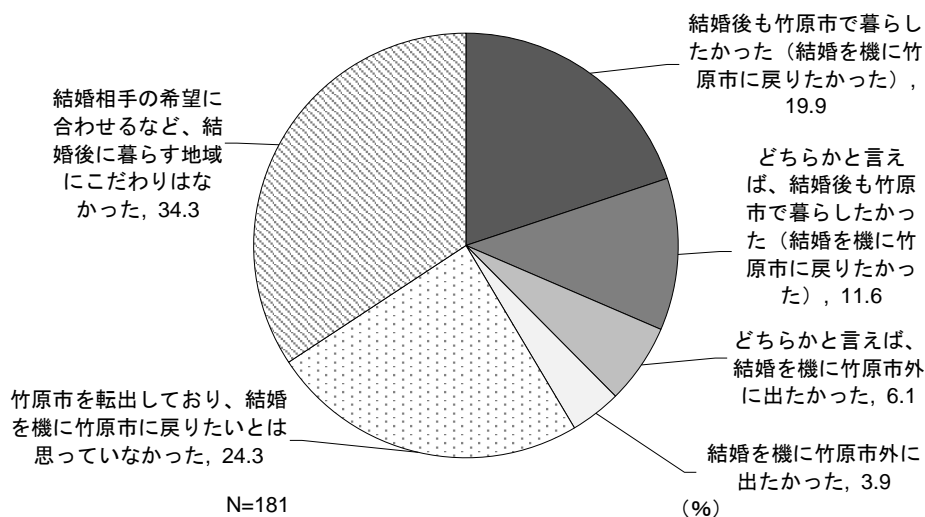
問15 現在結婚している方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きます。

結婚後に暮らし始める地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。

結婚後に暮らし始める地域の希望について聞いたところ（図Ⅲ－15）、「結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった」（34.3%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市を転出しており、結婚を機に竹原市に戻りたいとは思っていなかった」（24.3%）という回答が多い。

「結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」（19.9%）又は「どちらかと言えば、結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」（11.6%）という回答の合計は、31.5%で、3割を超える。

図Ⅲ－15 結婚後に暮らし始める地域の希望（単数）



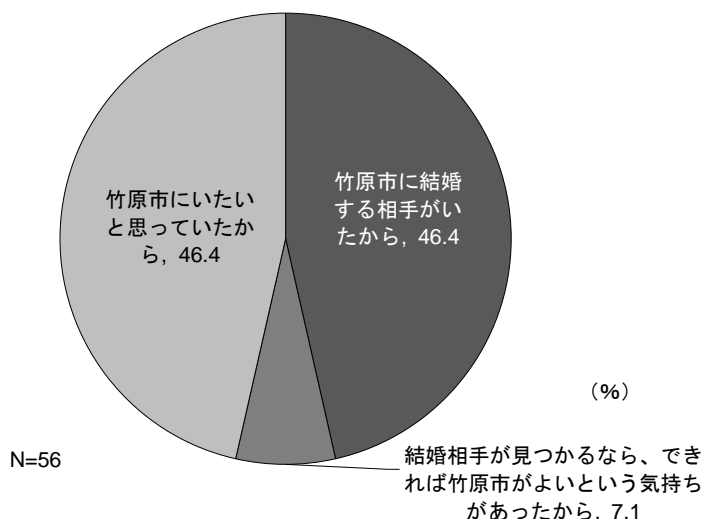
問16 問15で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」理由についてご回答ください。

結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）理由（図Ⅲ-16）では、「竹原市に結婚する相手がいたから」（46.4%）、「竹原市にいたいと思っていたから」（46.4%）という回答が最も多い。

「結婚相手が見つかるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから」（7.1%）又は「竹原市にいたいと思っていたから」（46.4%）という回答の合計は、53.5%で、半数を超える。

図Ⅲ-16 結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）理由（単数）

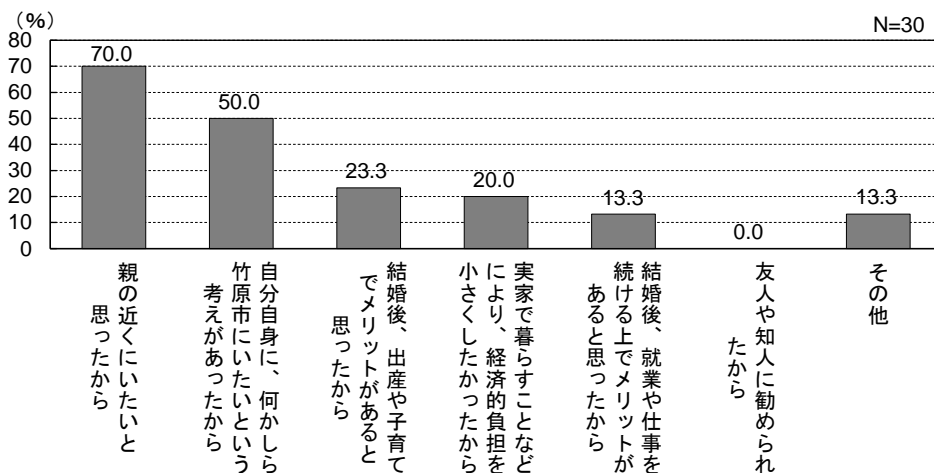


問17 問16で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（図Ⅲ-17）では、「親の近くにいたいと思ったから」（70.0%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（50.0%）という回答が多い。

図Ⅲ-17 「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（複数）

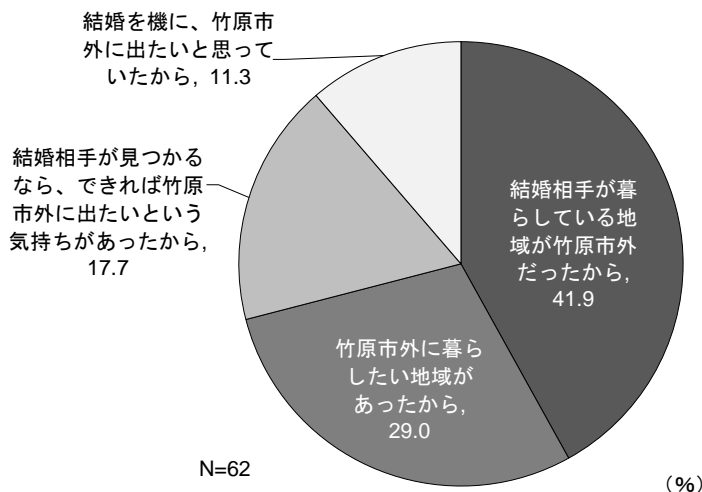


問18 問15で「3.」～「5.」に○印を付けられた方にお聞きます。

結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由についてご回答ください。

結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由（図Ⅲ-18）では、「結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから」（41.9%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市外に暮らしたい地域があったから」（29.0%）という回答が多い。

図Ⅲ-18 結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由（単数）

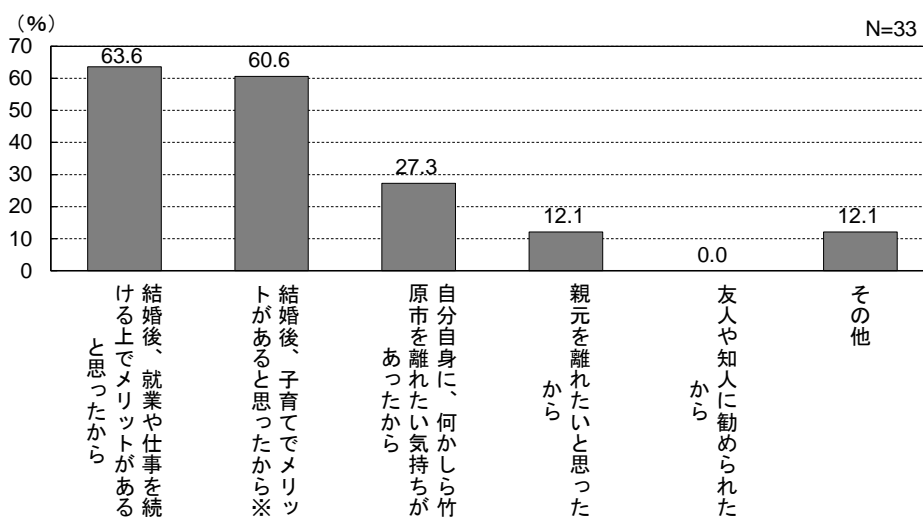


問19 問18で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、「竹原市外に出たい」と思った理由（図Ⅲ-19）では、「結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあったから」（63.6%）という回答が最も多く、次いで、「結婚後、子育てでメリットがあったから」（60.6%）という回答が多い。

図Ⅲ-19 「竹原市外に出たい」と思った理由（複数）



※調査票選択肢では、「結婚後、結婚や子育てでメリットがあったから」という記載であったが、回答者は、「結婚後、子育てでメリットがあったから」と解釈し回答したものと推測されるため、本グラフの表記においては、修正し記載している。

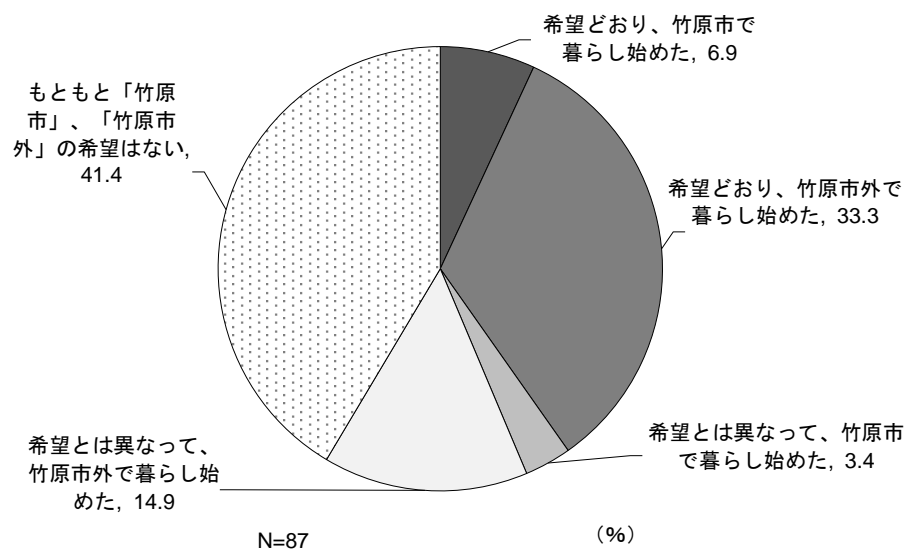
問 2 0 現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きします。

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、結婚後に暮らし始めた地域は希望どおりでしたか。

結婚後に暮らし始めた地域の希望の実現について聞いたところ（図Ⅲ－20）、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（41.4%）という回答が最も多く、次いで、「希望どおり、竹原市外で暮らし始めた」（33.3%）という回答が多い。

「希望とは異なって、竹原市外で暮らし始めた」という回答は、14.9%で、1割を超える。

図Ⅲ－20 結婚後に暮らし始めた地域の希望の実現（単数）



5 結婚について

問 2 1 すべての方にお聞きます。

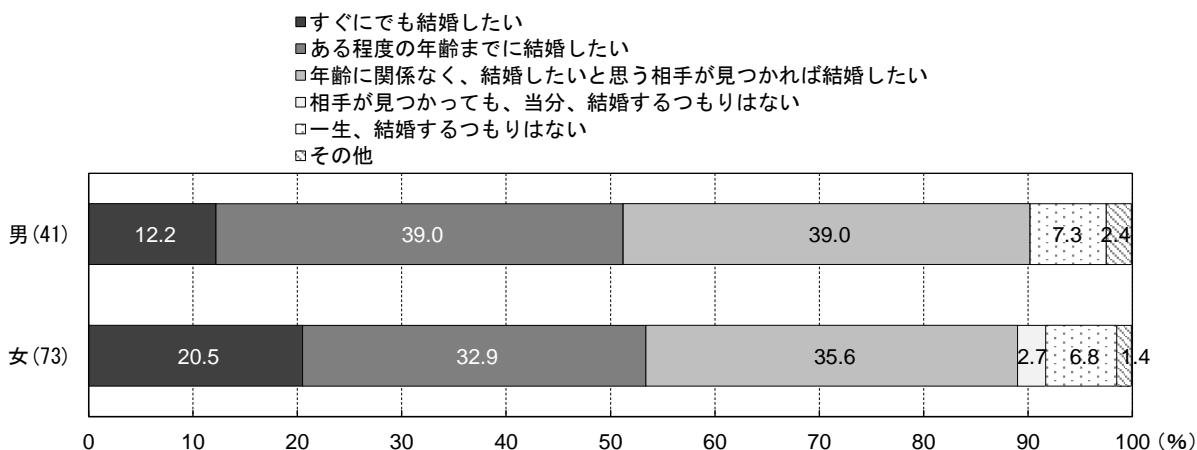
あなたご自身の結婚についてどのように考えられますか。結婚されたことがある方は、未婚のときを思い出してご回答ください。

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、未婚者に自身の結婚についての考えについて聞いたところ（図Ⅲ－2 1）、「すぐにでも結婚したい」（男性 12.2%、女性 20.5%）、「ある程度の年齢までに結婚したい」（男性 39.0%、女性 32.9%）、又は「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」（男性 39.0%、女性 35.6%）という回答の合計は、男性は 90.2%、女性は 89.0%で、男女とも約 9 割に「結婚意思」がある。

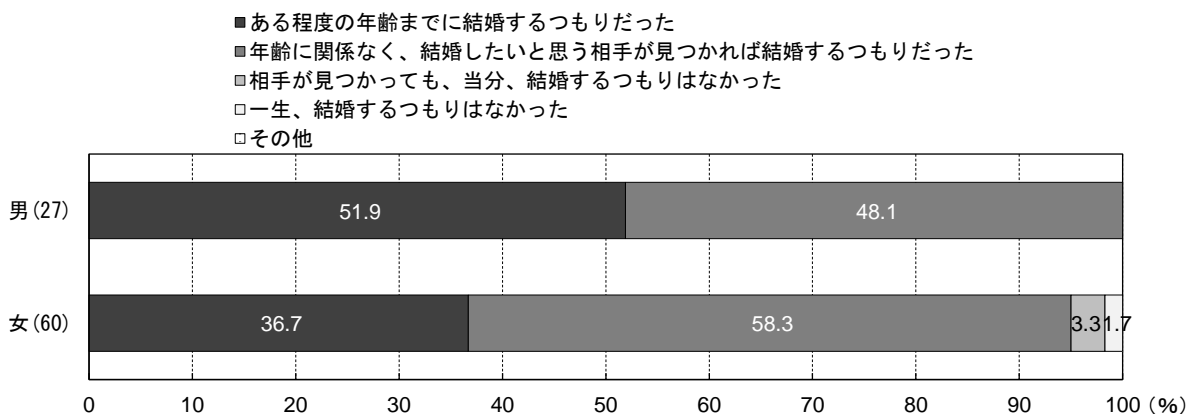
一方で、未婚男性の 7.3%、未婚女性の 6.8%が「一生、結婚するつもりはない」と回答しており、未婚女性の 2.7%が「相手が見つかって、当分、結婚するつもりはない」と回答している。

また、既婚者に自身の結婚についての考えを聞いたところ（図Ⅲ－2 2）、「ある程度の年齢までに結婚するつもりだった」（男性 51.9%、女性 36.7%）又は「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚するつもりだった」（男性 48.1%、女性 58.3%）という回答の合計は、男性 100.0%、女性 95.0%で、男女とも高い「結婚意思」がある。

図Ⅲ－2 1 自身の結婚についての考え（未婚の方）（単数）



図Ⅲ－2 2 自身の結婚についての考え（結婚されたことがある方）（単数）



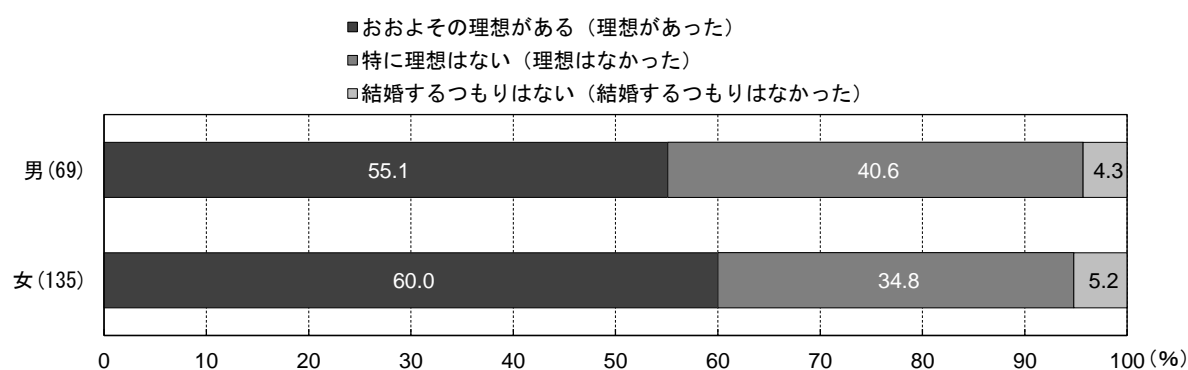
問 2 2 すべての方にお聞きします。

ご自身の結婚について理想とする年齢がありますか。理想とする年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。

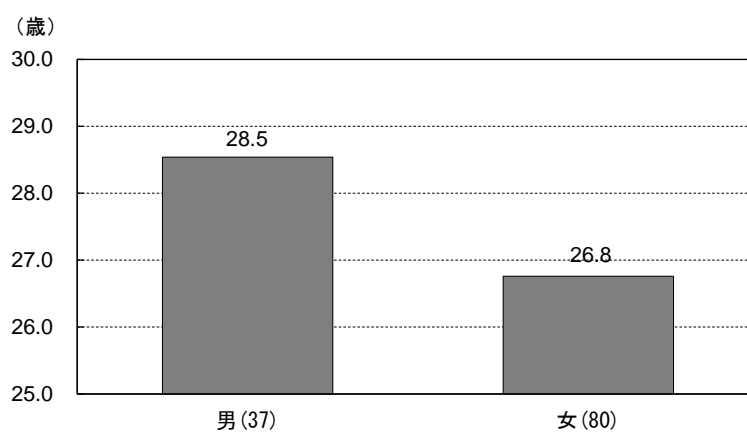
自身の結婚について理想とする年齢について聞いたところ（図Ⅲ－2 3）、男性の 55.1%、女性の 60.0%が「おおよその理想がある（理想があった）」と回答している。

また、理想の結婚年齢の平均値（図Ⅲ－2 4）は、男性 28.5 歳、女性 26.8 歳と算出された。

図Ⅲ－2 3 自身の結婚について理想とする年齢（単数）

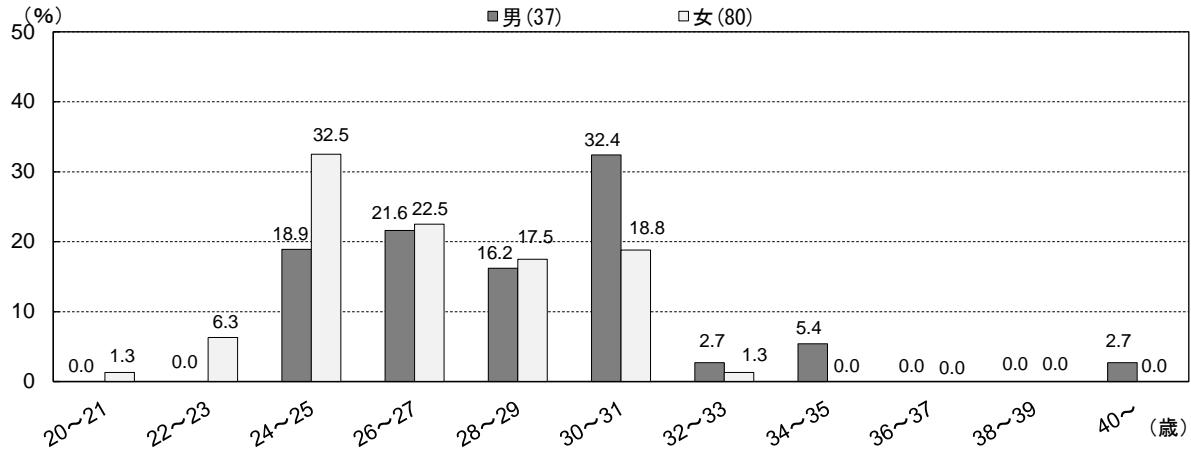


図Ⅲ－2 4 理想の結婚年齢の平均値（結婚年齢に理想がある者）



理想の結婚年齢の分布（図Ⅲ－２５）を見ると、男性は「30～31歳」（32.4%）、女性は「24～25歳」（32.5%）が最も多く、男女で差がある。

図Ⅲ－２５ 理想の結婚年齢の分布（結婚年齢に理想がある者）（数量）



問 2 3 すべての方にお聞きします。

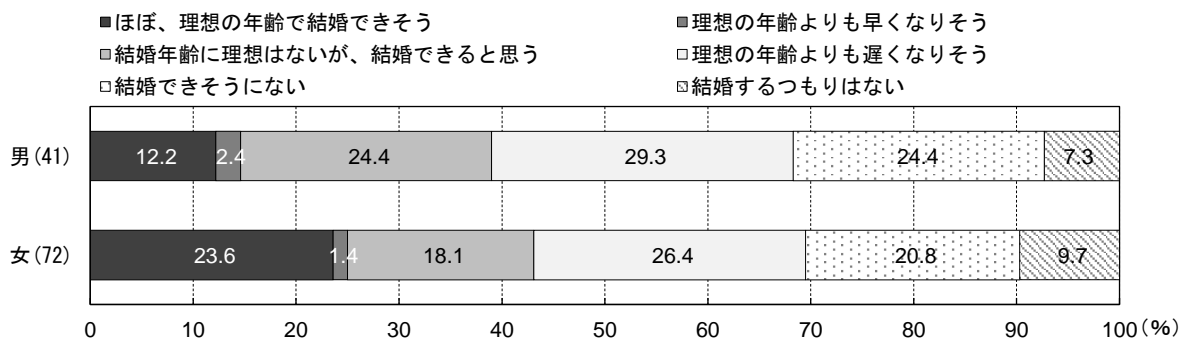
ご自身の結婚の見通し（結婚されたことがある方は実現状況）をご回答ください。

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、未婚者に自身の結婚の見通しについて聞いたところ（図Ⅲ－２６）、男性の24.4%、女性の20.8%が「結婚できそうにない」と回答し、男性の29.3%、女性の26.4%が「理想の年齢よりも遅くなりそう」と回答している。

「結婚できそうにない」（男性24.4%、女性20.8%）又は「理想の年齢よりも遅くなりそう」（男性29.3%、女性26.4%）という回答を「結婚希望の実現困難」としてまとめると、2つの回答の合計は、男性53.7%、女性47.2%で、男女とも約半数ある。

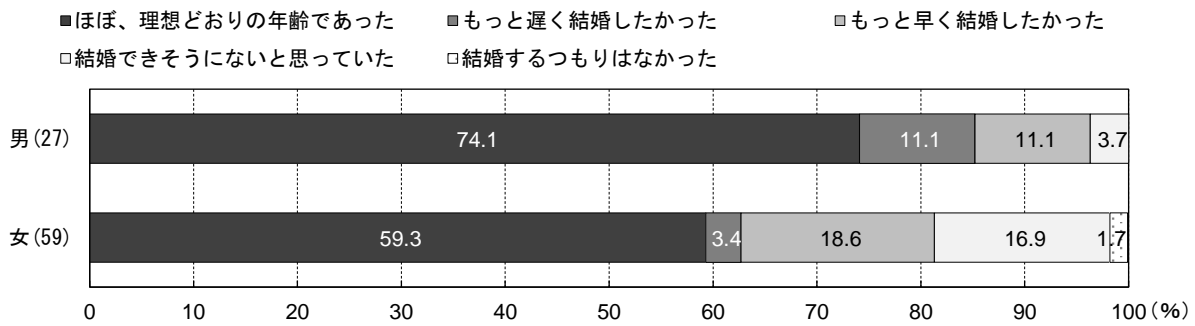
一方で、男性の12.2%、女性の23.6%が、「ほぼ、理想の年齢で結婚できそう」と回答している。

図Ⅲ－２６ 自身の結婚の見通し（未婚の方）（単数）



既婚者に自身の結婚の実現状況について聞いたところ（図Ⅲ－２７）、男性の74.1%、女性の59.3%が、「ほぼ、理想どおりの年齢であった」と回答しており、男性は7割を超える。

図Ⅲ－２７ 自身の結婚の実現状況（結婚されたことがある方）（単数）



6 子どもを持つことについて

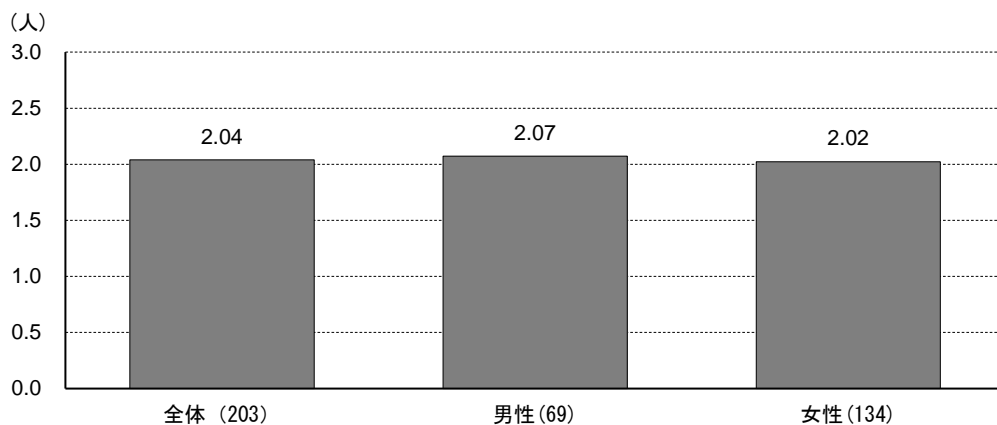
問 2 4 すべての方にお聞きます。

希望する子どもの数は何人ですか。

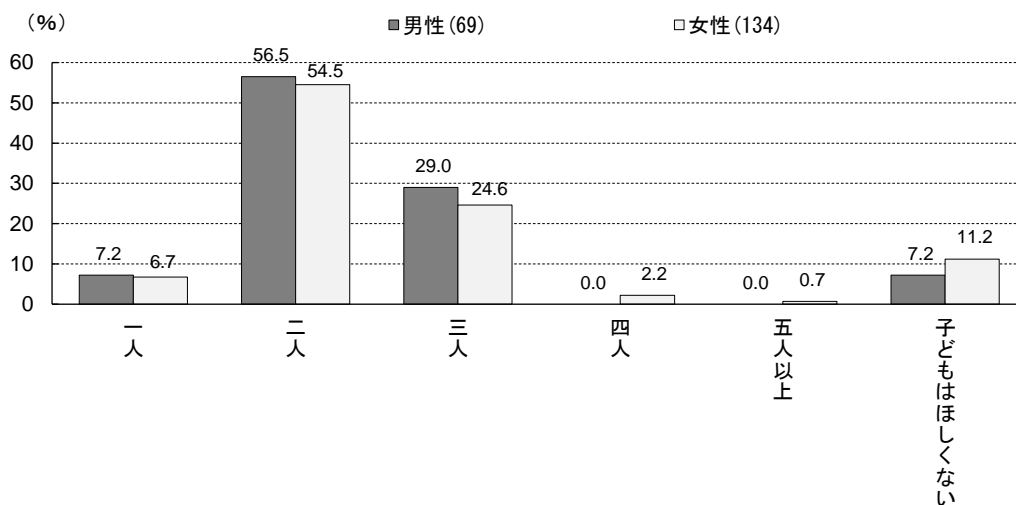
希望する子どもの数について聞いたところ、希望する子どもの数の平均値は（図Ⅲ－28）は、男性2.07人、女性2.02人、全体では2.04人と算出された。

希望する子どもの数（図Ⅲ－29）は、男女とも「二人」（男性56.5%、女性54.5%）という回答が最も多く、次いで、「三人」（男性29.0%、女性24.6%）という回答が多い。

図Ⅲ－28 希望する子どもの数の平均値



図Ⅲ－29 希望する子どもの数（単数）



問 2 5 すべての方にお聞きします。

希望とは別に、現実には何人の子供を持てるか。

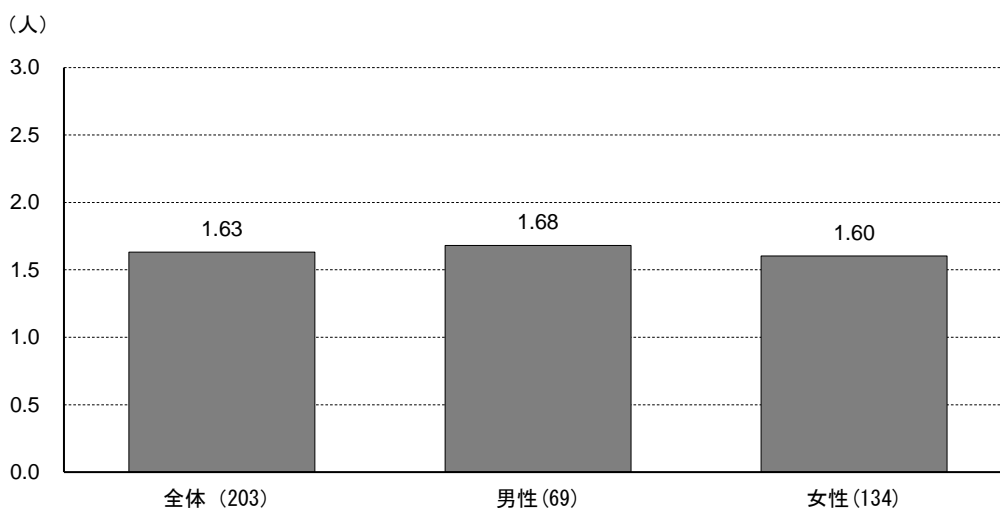
現実には何人の子供を持てるかについて聞いたところ、現実には何人の子供を持てるかという質問の平均値（図Ⅲ-30）は、男性1.68人、女性1.60人、全体では1.63人と算出された。希望に比べ、男性は0.39ポイント、女性は0.42ポイント、全体では0.41ポイント減少した。

現実には何人の子供を持てるか（図Ⅲ-31）は、男女とも「二人」（男性53.6%、女性59.0%）という回答が最も多い。

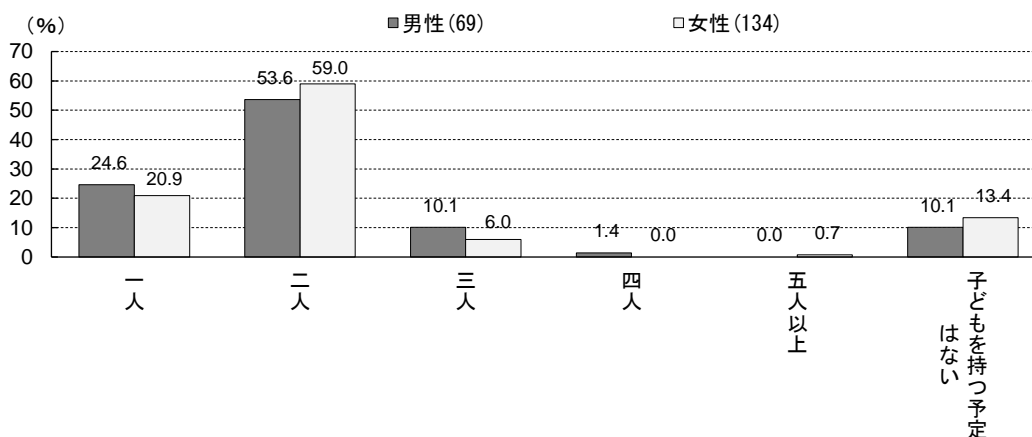
また、「三人」（男性10.1%、女性6.0%）という回答は、男女とも、希望に比べ、15ポイント以上減少した。

一方で、「一人」（男性24.6%、女性20.9%）又は「子供を持つ予定はない」（男性10.1%、女性13.4%）という回答は、男女とも、希望に比べて増加し、「一人」という回答は、男女とも10ポイント以上増加した。

図Ⅲ-30 現実には何人の子供を持てるか（単数）



図Ⅲ-31 現実には何人の子供を持てるか（単数）



7 竹原市について

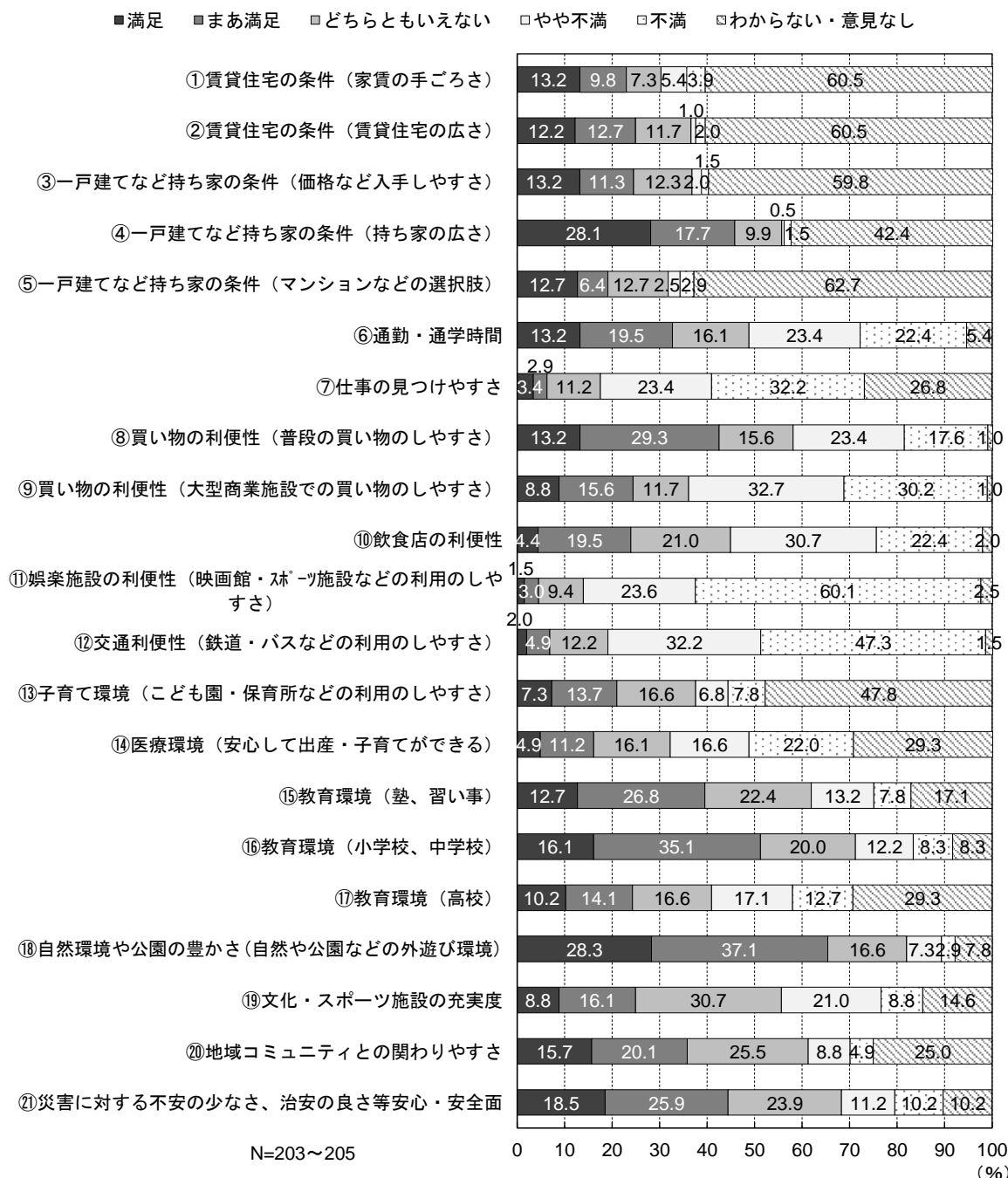
問26 すべての方にお聞きます。

あなたは、竹原市での暮らしにどの程度満足していましたか。次の①～⑳の項目について、選択肢からご回答ください。（○印はそれぞれ1つだけ）

竹原市での暮らしの満足度について聞いたところ（図Ⅲ-32）、「満足」又は「まあ満足」という回答の合計は、「自然環境や公園の豊かさ（自然や公園などの外遊び環境）」（65.4%）が最も多く、次いで、「教育環境（小学校、中学校）」（51.2%）、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（45.8%）が多い。

逆に、「不満」又は「やや不満」という回答の合計は、「娯楽施設の利便性（映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ）」（83.7%）が最も多く、次いで、「交通利便性（鉄道・バスなどの利用のしやすさ）」（79.5%）、「買い物の利便性（大型商業施設での買い物のしやすさ）」（62.9%）が多い。

図Ⅲ-32 竹原市での暮らしの満足度（単数）

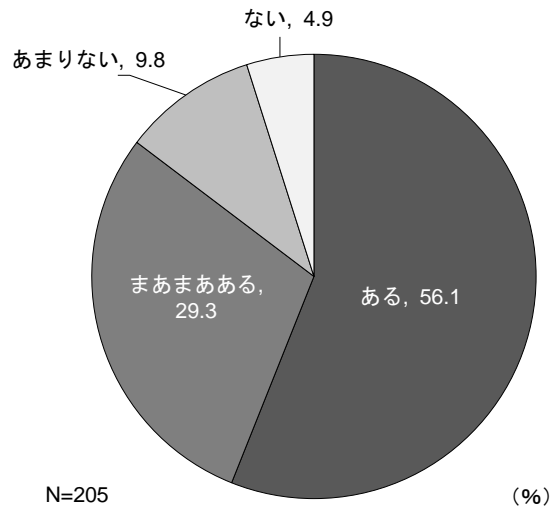


問 2 7 すべての方にお聞きします。

あなたは、竹原市や、竹原市でお住まいだった地域に愛着はありますか。

竹原市や竹原市で住んでいた地域への愛着について聞いたところ（図Ⅲ－3 3）、「ある」（56.1%）又は「まあまあある」（29.3%）という回答の合計は、85.4%で、8割を超える。

図Ⅲ－3 3 竹原市や竹原市で住んでいた地域への愛着（単数）



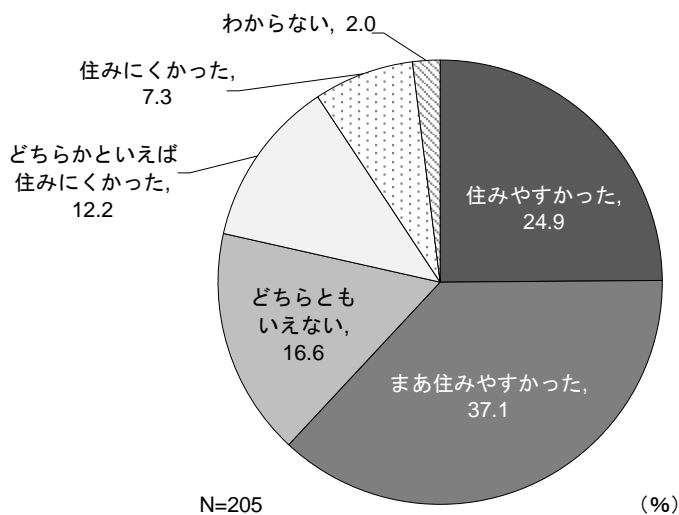
問 2 8 すべての方にお聞きします。

総合的に見て竹原市は住みやすかったですか。

竹原市の住みやすさについて聞いたところ（図Ⅲ－3 4）、「住みやすかった」（24.9%）又は「まあ住みやすかった」（37.1%）という回答の合計は、62.0%で、6割を超える。

一方、「住みにくかった」（7.3%）又は「どちらかといえば住みにくかった」（12.2%）という回答の合計は、19.5%で、約2割ある。

図Ⅲ－3 4 竹原市の住みやすさ（単数）

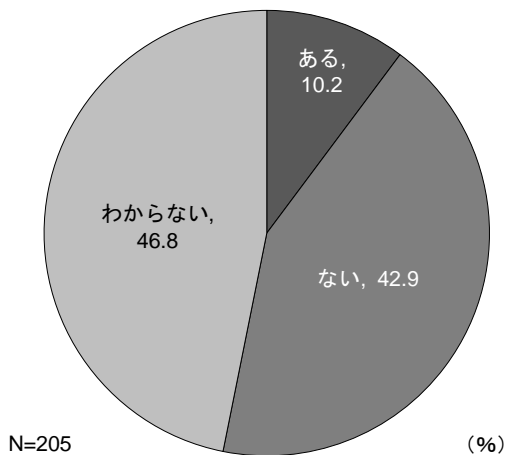


問 2 9 すべての方にお聞きします。
竹原市にUターンする予定はありますか。

竹原市にUターンする予定について聞いたところ（図Ⅲ－35）、「わからない」（46.8%）という回答が最も多く、次いで、「ない」（42.9%）という回答が多い。

また、「ある」という回答は、10.2%で、1割ある。

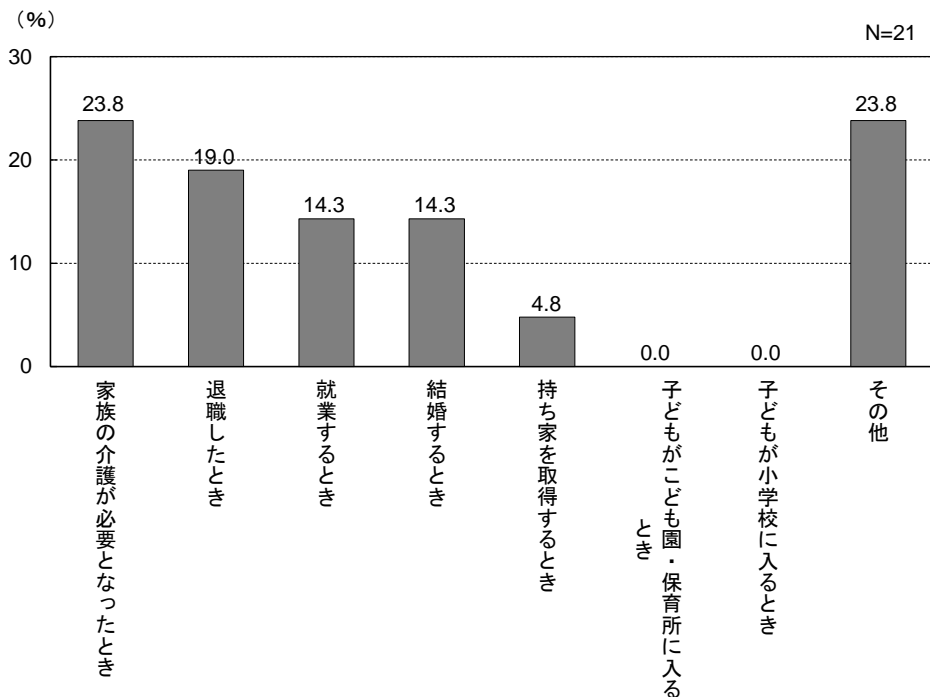
図Ⅲ－35 竹原市にUターンする予定（単数）



問 3 0 問 2 9 で「1.」に○印を付けた方にお聞きします。
いつ竹原市に戻ることを予定していますか。

サンプルサイズが小さいため注意が必要であるが、竹原市に戻る予定時期について聞いたところ（図Ⅲ－36）、「家族の介護が必要となったとき」（23.8%）、「その他」（23.8%）という回答が最も多く、次いで、「退職したとき」（19.0%）という回答が多い。

図Ⅲ－36 竹原市に戻る予定時期（単数）

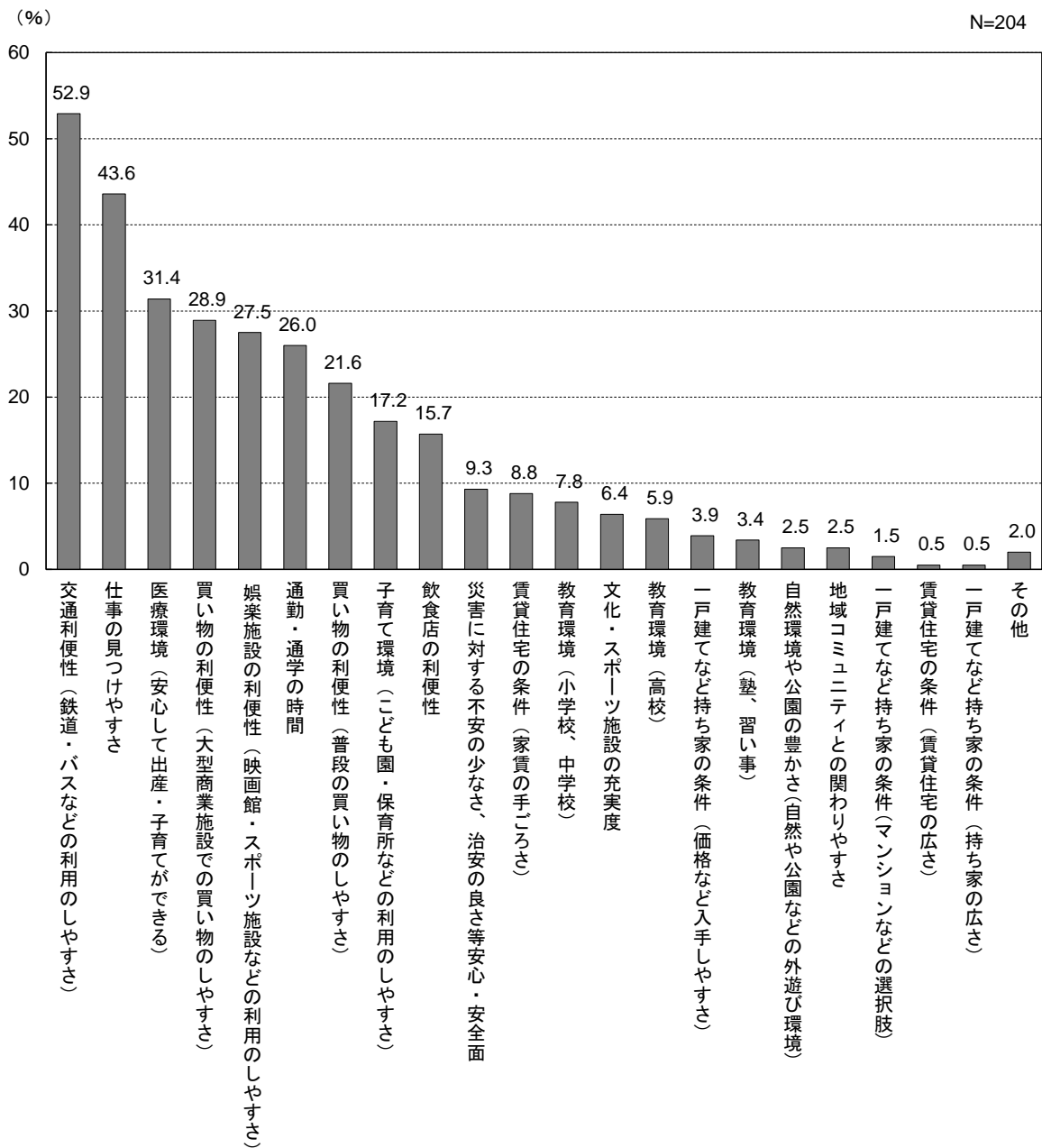


問 3 1 すべての方にお聞きします。

竹原市のどのようなところが改善されればより暮らしやすいと思いますか。(○印は3つまで)

暮らしやすくするための竹原市の改善点について聞いたところ(図Ⅲ-37)、「交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)」(52.9%)という回答が最も多く、次いで、「仕事の見つけやすさ」(43.6%)、「医療環境(安心して出産・子育てができる)」(31.4%)、「買い物の利便性(大型商業施設での買い物のしやすさ)」(28.9%)という回答が多い。

図Ⅲ-37 暮らしやすくするための竹原市の改善点(複数)



Ⅲ－２ 結果分析

1 転出前後・転出時の状況について

(1) 転出理由

竹原市からの転出理由について、「ライフステージの変化に関する理由」と「住宅・住環境に関する理由」の2つの視点から聞いたところ、「ライフステージの変化に関する理由」では、「自分の就職・転職・転勤など」(45.3%)という回答が最も多く、次いで、「自分の大学等への進学・通学」(23.2%)という回答が多かった。「仕事」を理由(タイミング)とした転出が半数近くあり、「仕事」が「住む地域」に大きく影響していることが分かる。また、約2割ある「自分の大学等への進学・通学」を理由(タイミング)とした転出については、卒業後に竹原市にUターンする可能性も考えられる。

また、「住宅・住環境に関する理由」では、「特に不満はなかった」(38.7%)という回答が最も多く、次いで、「通勤時間に不満」(33.3%)という回答が多かった。住宅・住環境に関して、「特に不満はなかった」という回答が約4割あることから、転出した主な理由は、住宅・住環境ではなく、ライフステージの変化に関するものであることが分かる。

(2) 転出先を決める際に考慮したこと

転出先を決める際に考慮したことについて、考慮順の1位から3位まで聞いたところ、考慮順1位は、「職場や自分の通う学校への近さ」(50.5%)という回答が最も多く、半数を超えた。

考慮順2位は、「家賃、住宅・土地の価格の適当さ」(24.9%)という回答が最も多く、次いで、「買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の便利さ」(19.6%)という回答が多かった。

考慮順3位は、「買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の便利さ」(27.1%)という回答が最も多く、次いで、「交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)」(20.2%)という回答が多かった。

転出先を決める際は、生活利便性や交通利便性よりも、職住(学住)の近接性を重視していることが分かる。

2 就業と地域選択について

(1) 初めて就業する地域の希望とその理由

初めて就業する地域の希望について聞いたところ、「竹原市で働きたかった」(9.5%)又は「どちらかと言えば、竹原市で働きたかった」(12.4%)という回答の合計は、21.9%で、約2割に、「竹原市で働きたかった」という希望があった。

一方、竹原市外での就業希望は、41.8%で、4割を超え、竹原市での就業希望を約20ポイント上回った。市民意識調査の結果では、竹原市での就業希望が上回っており、逆の結果となった。

また、市民意識調査の結果と同様に、「働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりはなかった」(36.3%)という回答が最も多かった。

(2) 竹原市で働きたかった理由

竹原市での就業希望者に、その理由を聞いたところ、「働きたい仕事が竹原市にあるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから」(46.5%)、「竹原市にいたいと思っていたから」(46.5%)という回答が最も多く、「竹原市に就職したい企業、働きたい仕事があったから」(7.0%)という回答を大きく上回った。

加えて、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」という理由を聞いたところ、「親の近くにいたいと思ったから」(57.5%)という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」(45.0%)、「実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから」(40.0%)という回答が多かった。「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」という回答の男女別内訳を見ると、男性61.5%、女性37.0%で、男性が20ポイント以上高く、男性の方が、竹原市への愛着や地元志向が強いことが分かる。

(3) 竹原市外で働きたかった理由

竹原市外での就業希望者に、その理由を聞いたところ、「竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから」(41.7%)、「竹原市外に出たいと思っていたから」(39.3%)という回答が、ほぼ同程度で、それぞれ約4割あった。

また、「竹原市外に出たい」という理由を聞いたところ、「就職したい企業を見つけるのは竹原市外が有利になると思ったから」(49.0%)という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから」(46.9%)、「親元を離れたいと思ったから」(46.9%)という回答が多かった。「就職したい企業を見つけるのは竹原市外が有利になると思ったから」という回答の男女別内訳を見ると、男性36.4%、女性52.6%で、女性が15ポイント以上高く、女性が就職したい企業、働きたい仕事が、竹原市に少ない可能性が考えられる。

(4) 就業した地域の希望の実現状況とその理由

就業した地域について、「竹原市」、「竹原市外」の希望の実現状況について聞いたところ、「希望どおり、竹原市外で就業した」(37.8%)という回答が最も多く、次いで、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」(33.2%)という回答が多かった。

希望の実現状況を見ると、「希望どおり、竹原市で就業した」(14.3%)又は「希望どおり、竹原市外で就業した」(37.8%)という回答の合計は、52.1%で、半数が希望を実現していた。

また、「希望とは異なって、竹原市外で就業した」(11.7%)という回答も、約1割あった。

就業した地域が希望どおりにならなかった者に、その理由を聞いたところ、「就職したい企業、働きたい仕事があったから」(55.2%)という回答が最も多く、半数を超え、就業する地域の希望よりも就職したい企業や働きたい仕事を優先していることが分かる。

(5) 自分らしいと思える仕事や働きたい職種があった場合の竹原市居住の意向

自分らしいと思える仕事や働きたい職種があった場合の竹原市居住の意向について聞いたところ、75.5%に竹原市居住の意向があった。

自分らしいと思える仕事や働きたい職種があれば、転出者の約8割が、竹原市に居住していた可能性があり、定住には「仕事」が不可欠な要素であることが分かる。

3 結婚と地域選択について

(1) 結婚後に暮らし始める地域の希望とその理由

結婚後に暮らし始める地域の希望について聞いたところ、市民意識調査の結果と同様で、「結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった」(34.3%)という回答が最も多かった。

次いで、「竹原市を転出しており、結婚を機に竹原市に戻りたいとは思っていなかった」(24.3%)という回答が多く、就職などで一旦竹原市を転出すると、結婚後に竹原市で暮らす可能性が少なくなる事が分かる。

(2) 結婚後も竹原市で暮らしたかった理由

結婚後も竹原市で暮らすこと（結婚を機に竹原市に戻ること）を希望した者に、その理由を聞いたところ、「竹原市に結婚する相手がいたから」（46.4%）、「竹原市にいたいと思っていたから」（46.4%）という回答が最も多かった。

加えて、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」という理由を聞いたところ、「親の近くにいたいと思ったから」（70.0%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（50.0%）という回答が多かった。「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」という回答の男女別内訳を見ると、男性 70.0%、女性 40.0%で、男性が 30 ポイント高く、男性の方が、竹原市への愛着や地元志向が強いことが分かる。

(3) 結婚後に竹原市外で暮らしたかった理由

結婚後に竹原市外で暮らすこと（結婚を機に竹原市に戻らないこと）を希望した者に、その理由を聞いたところ、「結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから」（41.9%）という回答が最も多く、4割を超え、次いで、「竹原市外に暮らしたい地域があったから」（29.0%）という回答が多かった。

加えて、「竹原市外に出たい」という理由を聞いたところ、「結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあると思ったから」（63.6%）という回答が最も多く、次いで、「結婚後、子育てでメリットがあると思ったから」（60.6%）という回答が多かった。どちらの回答も6割を超え、竹原市外で暮らすことで想定されるメリットが大きな理由となっていることが分かる。

(4) 結婚後に暮らした地域の希望の実現状況

結婚後に暮らし始めた地域について、「竹原市」、「竹原市外」の希望の実現状況について聞いたところ、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（41.4%）という回答が最も多く、希望の問いへの回答と同様であった。

希望の実現状況で見ると、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（6.9%）又は「希望どおり、竹原市外で暮らし始めた」（33.3%）という回答の合計は、40.2%で、4割が希望を実現していた。

4 結婚について

(1) 結婚意思とその理由

結婚意思について聞いたところ、未婚男性の 90.2%、未婚女性の 89.0%に、結婚意思があった。市民意識調査の結果（未婚男性 82.7%、未婚女性 81.1%）と比べると、転出者の方が、男女とも高く、本市在住者（市民）よりも、結婚意思のある者が多いことが分かる。

加えて、「すぐにも結婚したい」又は「ある程度の年齢までに結婚したい」という回答の合計は、未婚男性 51.2%、未婚女性 53.4%で、市民意識調査の結果（未婚男性 44.9%、未婚女性 40.6%）と比べると、転出者の方が、男女とも高く、本市在住者（市民）よりも、結婚意欲の強い者が多いことが分かる。

また、「すぐにも結婚したい」という未婚女性は、20.5%で、市民意識調査の結果（未婚女性 12.2%）と比べると、転出者の方が、8ポイント以上高かった。

一方で、未婚男性の 7.3%、未婚女性の 9.5%に、結婚意思がなかった。このうち、「一生、結婚するつもりはない（生涯非婚）」という回答は、男性 7.3%、女性 6.8%で、市民意識調査の結果（男性 10.2%、女性 8.8%）と比べると、転出者の方が、男女とも低く、本市在住者（市民）

よりも、生涯非婚の意思がある者が少ないことが分かる。

結婚意思のある者や結婚意欲の強い者が転出する（転出している）ことで、結果として、本市の未婚化・晩婚化が進んでいることが考えられる。

(2) 理想の結婚年齢

理想の結婚年齢について聞いたところ、男性の 55.1%、女性の 60.0%に、理想の結婚年齢があった。

また、理想の結婚年齢の平均値は、男性 28.5 歳、女性 26.8 歳で、市民意識調査の結果（男性 27.9 歳、女性 26.3 歳）と比べると、転出者の方が、若干高いものの、男女とも、令和 3 年広島県人口動態統計年報における広島県の平均初婚年齢（男性 29.6 歳、女性 28.4 歳）を下回っている。

(3) 結婚の見通し

結婚の見通しについて聞いたところ、「ほぼ、理想の年齢で結婚できそう」という回答は、未婚男性 12.2%、未婚女性 23.6%で、市民意識調査の結果（未婚男性 13.5%、未婚女性 12.3%）と比べると、未婚女性では、転出者の方が、10 ポイント以上高かった。

また、「結婚できそうにない」（未婚男性 24.4%、未婚女性 20.8%）又は「理想の年齢よりも遅くなりそう」（未婚男性 29.3%、未婚女性 26.4%）という回答を「結婚希望の実現困難」としてまとめると、2つの回答の合計は、未婚男性 53.7%、未婚女性 47.2%で、男女とも約半数あった。ただし、市民意識調査の結果（未婚男性 59.4%、未婚女性 63.0%）と比べると、転出者の方が、男女とも低く、特に、未婚女性では、転出者の方が、15 ポイント以上低かった。

転出者の方が、本市在住者（市民）よりも、結婚の見通しの良い者が多いことが分かる。

また、結婚の見通しの良い者が転出する（転出している）ことで、結果として、本市の未婚化・晩婚化が進み、本市の出生率の低下に繋がっていることが考えられる。

5 子どもを持つことについて

(1) 希望の子ども数

希望の子ども数について聞いたところ、男女とも「二人」（男性 56.5%、女性 54.5%）という回答が最も多く、半数を超え、次いで、「三人」（男性 29.0%、女性 24.6%）という回答が多かった。

「一人」（男性 7.2%、女性 6.7%）又は「子どもはほしくない」（男性 7.2%、女性 11.2%）という回答は、市民意識調査の結果（「一人」男性 15.6%、女性 8.3%、「子どもはほしくない」男性 10.2%、女性 11.8%）と比べると、転出者の方が、男女とも低かった。

希望する子ども数の平均値を算出すると、男性 2.07 人、女性 2.02 人、全体では 2.04 人となった。市民意識調査の結果（男性 2.01 人、女性 2.03 人、全体 2.02 人）と比べると、男性は、転出者の方が、本市在住者（市民）よりも高く、逆に、女性は、わずかではあるが、本市在住者（市民）の方が、転出者よりも高かった。

(2) 現実に持てると思う子ども数

現実に持てると思う子ども数について聞いたところ、希望の子ども数と同様で、男女とも「二人」（男性 53.6%、女性 59.0%）という回答が最も多かった。次いで、希望では、「三人」という回答が多かったが、現実では、「一人」（男性 24.6%、女性 20.9%）という回答が多くなり、男女とも、希望に比べ、10 ポイント以上増加した。

また、「子どもを持つ予定はない」（男性 10.1%、女性 13.4%）という回答も、希望に比べ増加し、男女とも 1 割を超えたが、市民意識調査の結果（男性 15.0%、女性 14.0%）と比べると、転出者の方が、男女とも低かった。

一方で、「三人」（男性 10.1%、女性 6.0%）という回答は、希望に比べ減少し、市民意識調査の結果（男性 14.4%、女性 14.3%）と比べると、転出者の方が、男女とも低かった。

現実には持っていると思う子ども数の平均値を算出すると、男性 1.68 人、女性 1.60 人、全体では 1.63 人となり、希望に比べ、男性は 0.39 ポイント、女性は 0.42 ポイント、全体では 0.41 ポイント減少した。市民意識調査の結果（男性 1.67 人、女性 1.74 人、全体 1.71 人）と比べると、男性は、わずかではあるが、転出者の方が高く、逆に、女性は、本市在住者（市民）の方が、転出者よりも、0.14 ポイント高かった。

6 竹原市について

(1) 竹原市での暮らしの満足度・不満足度

竹原市での暮らしの満足度について聞いたところ、「自然環境や公園の豊かさ（自然や公園などの外遊び環境）」（65.4%）という回答が最も多く、次いで、「教育環境（小学校、中学校）」（51.2%）、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（45.8%）という回答が多かった。

逆に、不満足度については、「娯楽施設の利便性（映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ）」（83.7%）という回答が最も多く、次いで、「交通利便性（鉄道・バスなどの利用のしやすさ）」（79.5%）、「買い物の利便性（大型商業施設での買い物のしやすさ）」（62.9%）という回答が多かった。

本市の魅力や強みである「自然環境」や「学校教育」について満足度が高く、都市部に比べ劣る「生活利便性」や「交通利便性」については満足度が低いことが分かる。

(2) 竹原市への愛着と住みやすさ

竹原市や竹原市で住んでいた地域への愛着について聞いたところ、「ある」（56.1%）又は「まあまあある」（29.3%）という回答の合計は、85.4%で、8 割を超えた。

また、竹原市の住みやすさについて聞いたところ、「住みやすかった」（24.9%）又は「まあ住みやすかった」（37.1%）という回答の合計は、62.0%で、6 割を超え、「住みにくかった」（7.3%）又は「どちらかと言えば住みにくかった」（12.2%）という回答の合計（19.5%）を大きく上回った。

多くの方が、生まれ育った竹原市や、竹原市で住んでいた地域に愛着があり、住みやすさについても肯定的な考えを持っていることが分かる。

(3) 竹原市にUターンする予定の有無とその時期

竹原市にUターンする予定の有無について聞いたところ、「わからない」（46.8%）という回答が最も多く、次いで「ない」（42.9%）という回答が多かった。「ある」（10.2%）という回答は、1 割あった。

Uターンを予定する者に、その時期を聞いたところ、「家族の介護が必要になったとき」（23.8%）、「その他」（23.8%）という回答が最も多く、次いで、「退職したとき」（19.0%）という回答が多かった。子育て期におけるUターン予定は少ないことが分かる。

(4) 暮らしやすくするための竹原市の改善点

暮らしやすくするための竹原市の改善点について聞いたところ、「交通利便性（鉄道・バスなど

の利用のしやすさ)」(52.9%)という回答が最も多く、次いで、「仕事の見つけやすさ」(43.6%)、「医療環境(安心して出産・子育てができる)」(31.4%)、「買い物の利便性(大型商業施設での買い物のしやすさ)」(28.9%)という回答が多かった。これらは、若者や子育て世代の定住に大きく関わる課題であると考えられる。

Ⅲ－3 資 料

1 回答者の属性

年齢

(実数)

(人)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳
男	69	2	6	3	9	8	14	3	7	10	1	2	2	-	-	2	-
女	136	1	7	16	27	20	19	7	10	4	10	3	3	4	-	3	2
合計	205	3	13	19	36	28	33	10	17	14	11	5	5	4	-	5	2

(構成比)

(%)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳
男	100.0	2.9	8.7	4.3	13.0	11.6	20.3	4.3	10.1	14.5	1.4	2.9	2.9	-	-	2.9	-
女	100.0	0.7	5.1	11.8	19.9	14.7	14.0	5.1	7.4	2.9	7.4	2.2	2.2	2.9	-	2.2	1.5
合計	100.0	1.5	6.3	9.3	17.6	13.7	16.1	4.9	8.3	6.8	5.4	2.4	2.4	2.0	-	2.4	1.0

竹原市転出時の年齢

(実数)

(人)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳
男	69	15	6	17	10	6	5	3	2	2	1	1	1
女	135	27	16	32	17	9	11	6	2	7	3	5	-
合計	204	42	22	49	27	15	16	9	4	9	4	6	1

(構成比)

(%)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳
男	100.0	21.7	8.7	24.6	14.5	8.7	7.2	4.3	2.9	2.9	1.4	1.4	1.4
女	100.0	20.0	11.9	23.7	12.6	6.7	8.1	4.4	1.5	5.2	2.2	3.7	-
合計	100.0	20.6	10.8	24.0	13.2	7.4	7.8	4.4	2.0	4.4	2.0	2.9	0.5

現在の居住市町村

(実数)

(人)

性別	全体	東広島市	広島市	三原市	福山市	その他
男	69	16	14	7	3	29
女	136	21	46	15	7	47
合計	205	37	60	22	10	76

(構成比)

(%)

性別	全体	東広島市	広島市	三原市	福山市	その他
男	100.0	23.2	20.3	10.1	4.3	42.0
女	100.0	15.4	33.8	11.0	5.1	34.6
合計	100.0	18.0	29.3	10.7	4.9	37.1

竹原市で居住していた地域

(実数)

(人)

性別	全体	竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域
男	69	33	12	6	7	11
女	135	75	17	15	10	18
合計	204	108	29	21	17	29

(構成比)

(%)

性別	全体	竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域
男	100.0	47.8	17.4	8.7	10.1	15.9
女	100.0	55.6	12.6	11.1	7.4	13.3
合計	100.0	52.9	14.2	10.3	8.3	14.2

就労状況

(実数)

(人)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	69	58	3	1	1	1	-	1	-	4	-
女	136	91	3	16	2	-	-	3	9	8	4
合計	205	149	6	17	3	1	-	4	9	12	4

(構成比)

(%)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	100.0	84.1	4.3	1.4	1.4	1.4	-	1.4	-	5.8	-
女	100.0	66.9	2.2	11.8	1.5	-	-	2.2	6.6	5.9	2.9
合計	100.0	72.7	2.9	8.3	1.5	0.5	-	2.0	4.4	5.9	2.0

昨年の年収

(実数)

(人)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	69	5	3	7	15	15	9	9	1	1	1	1	2
女	135	22	12	27	31	15	8	3	1	1	-	1	14
合計	204	27	15	34	46	30	17	12	2	2	1	2	16

(構成比)

(%)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	100.0	7.2	4.3	10.1	21.7	21.7	13.0	13.0	1.4	1.4	1.4	1.4	2.9
女	100.0	16.3	8.9	20.0	23.0	11.1	5.9	2.2	0.7	0.7	-	0.7	10.4
合計	100.0	13.2	7.4	16.7	22.5	14.7	8.3	5.9	1.0	1.0	0.5	1.0	7.8

配偶者の状況

(実数)

(人)

性別	全体	未婚（結婚したことがない）	配偶者あり	配偶者なし（離別・死別）
男	69	41	26	2
女	136	73	60	3
合計	205	114	86	5

(構成比)

(%)

性別	全体	未婚（結婚したことがない）	配偶者あり	配偶者なし（離別・死別）
男	100.0	59.4	37.7	2.9
女	100.0	53.7	44.1	2.2
合計	100.0	55.6	42.0	2.4

就業場所

(実数)

(人)

性別	全体	竹原市	東広島市	広島市	三原市	福山市	呉市	その他
男	63	7	4	13	4	3	2	30
女	107	8	8	41	8	4	5	33
合計	170	15	12	54	12	7	7	63

(構成比)

(%)

性別	全体	竹原市	東広島市	広島市	三原市	福山市	呉市	その他
男	100.0	11.1	6.3	20.6	6.3	4.8	3.2	47.6
女	100.0	7.5	7.5	38.3	7.5	3.7	4.7	30.8
合計	100.0	8.8	7.1	31.8	7.1	4.1	4.1	37.1

通勤時間（片道）

（実数）

（人）

性別	全体	10分未満	10～19分	20～29分	30～39分	40～49分	50～59分	60分以上
男	63	7	22	9	8	10	2	5
女	106	12	30	27	20	6	3	8
合計	169	19	52	36	28	16	5	13

（構成比）

（%）

性別	全体	10分未満	10～19分	20～29分	30～39分	40～49分	50～59分	60分以上
男	100.0	11.1	34.9	14.3	12.7	15.9	3.2	7.9
女	100.0	11.3	28.3	25.5	18.9	5.7	2.8	7.5
合計	100.0	11.2	30.8	21.3	16.6	9.5	3.0	7.7

通勤手段

（実数）

（人）

性別	全体	徒歩	自転車	自動車・バイク	鉄道・バス	その他	通勤なし
男	66	10	14	27	14	-	1
女	126	24	25	42	31	-	4
合計	192	34	39	69	45	-	5

（構成比）

（%）

性別	全体	徒歩	自転車	自動車・バイク	鉄道・バス	その他	通勤なし
男	100.0	15.2	21.2	40.9	21.2	-	1.5
女	100.0	19.0	19.8	33.3	24.6	-	3.2
合計	100.0	17.7	20.3	35.9	23.4	-	2.6

初婚年齢

(実数)

(人)

性別	全体	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳
男	26	1	2	2	6	9	5	-	1	-	-
女	57	2	7	14	10	12	1	1	6	3	1
合計	83	3	9	16	16	21	6	1	7	3	1

(構成比)

(%)

性別	全体	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳
男	100.0	3.8	7.7	7.7	23.1	34.6	19.2	-	3.8	-	-
女	100.0	3.5	12.3	24.6	17.5	21.1	1.8	1.8	10.5	5.3	1.8
合計	100.0	3.6	10.8	19.3	19.3	25.3	7.2	1.2	8.4	3.6	1.2

配偶者の年齢

(実数)

(人)

性別	全体	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳	50～ 51歳
男	26	-	-	2	4	2	4	4	4	-	3	1	1	-	1	-	-
女	58	1	-	2	3	15	7	6	6	3	-	4	5	1	1	2	2
合計	84	1	-	4	7	17	11	10	10	3	3	5	6	1	2	2	2

(構成比)

(%)

性別	全体	22～ 23歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳	50～ 51歳
男	100.0	-	-	7.7	15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	-	11.5	3.8	3.8	-	3.8	-	-
女	100.0	1.7	-	3.4	5.2	25.9	12.1	10.3	10.3	5.2	-	6.9	8.6	1.7	1.7	3.4	3.4
合計	100.0	1.2	-	4.8	8.3	20.2	13.1	11.9	11.9	3.6	3.6	6.0	7.1	1.2	2.4	2.4	2.4

配偶者の就労状況

(実数)

(人)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	53	39	1	5	-	-	-	1	6	-	1
女	102	94	1	2	-	1	-	1	-	-	3
合計	155	133	2	7	-	1	-	2	6	-	4

(構成比)

(%)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	100.0	73.6	1.9	9.4	-	-	-	1.9	11.3	-	1.9
女	100.0	92.2	1.0	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	2.9
合計	100.0	85.8	1.3	4.5	-	0.6	-	1.3	3.9	-	2.6

配偶者の昨年の年収

(実数)

(人)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	25	4	1	2	7	3	-	2	-	-	-	-	6
女	55	-	1	4	14	13	7	6	5	3	-	2	-
合計	80	4	2	6	21	16	7	8	5	3	-	2	6

(構成比)

(%)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	100.0	16.0	4.0	8.0	28.0	12.0	-	8.0	-	-	-	-	24.0
女	100.0	-	1.8	7.3	25.5	23.6	12.7	10.9	9.1	5.5	-	3.6	-
合計	100.0	5.0	2.5	7.5	26.3	20.0	8.8	10.0	6.3	3.8	-	2.5	7.5

2 転出前後・転出時の状況について

問3 家族の人数、子どもの人数

【竹原市にお住まいの時】

(実数)

(人)

	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
家族の人数	204	—	2	10	40	76	50	13	13
子どもの人数	170	95	18	32	21	2	2	0	0

(構成比)

(%)

	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
家族の人数	100.0	—	1.0	4.9	19.6	37.3	24.5	6.4	6.4
子どもの人数	100.0	55.9	10.6	18.8	12.4	1.2	1.2	0.0	0.0

【現在】

(実数)

(人)

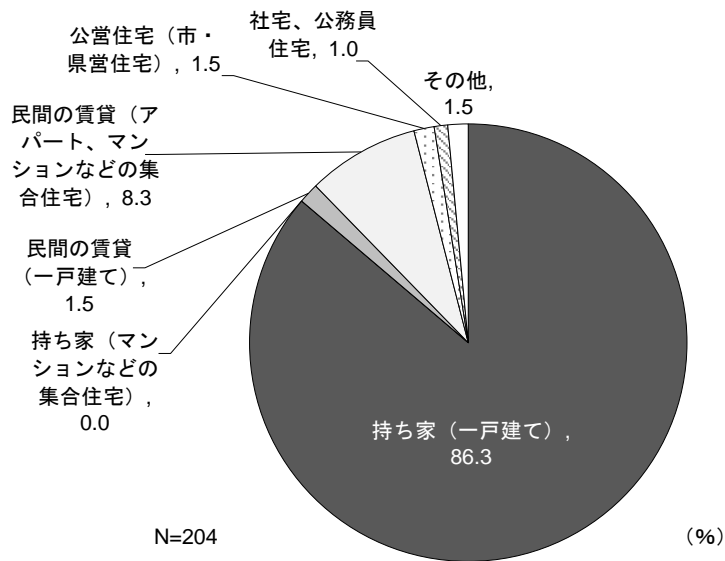
	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
家族の人数	205	—	100	32	39	24	9	0	1
子どもの人数	174	110	37	22	4	1	0	0	0

(構成比)

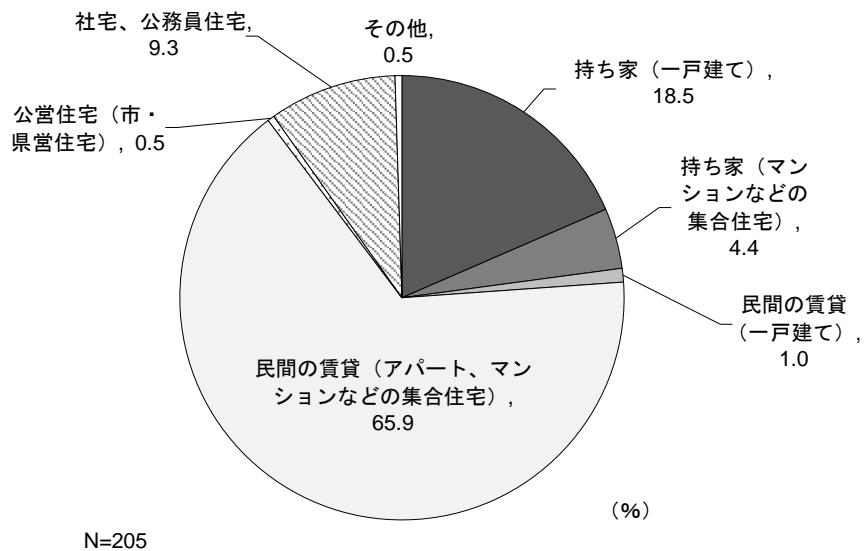
(%)

	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
家族の人数	100.0	—	48.8	15.6	19.0	11.7	4.4	0.0	0.5
子どもの人数	100.0	63.2	21.3	12.6	2.3	0.6	0.0	0.0	0.0

問4 転出前後の住まい【竹原市にお住まいの時】(単数)



問4 転出前後の住まい【現在】(単数)



竹原市の少子化対策や定住対策の取組に生かします 竹原市からの転出者を対象とした意識調査

●本調査の趣旨とご協力のお願い●

竹原市在住時には、市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

人口減少、少子高齢化が進展する中で、竹原市においても、出生率の低下や人口の社会減が大きな課題となっています。そこで、少子化対策や定住対策を検討するに当たり、転出された理由など、以前、本市にお住まいだった皆様のご意見を施策に生かすため、意識調査を実施することといたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和5年8月 竹原市

【本調査について】

- 本調査は、過去10年以内に竹原市から転出された竹原市出身の方で、転出日時点において18歳から39歳であった方にご協力をお願いしております。封筒の宛名の方がご回答くださいますようお願いいたします。
- 本調査は、令和5年8月31日現在の状況をご回答ください。
- 本調査は、お名前をご記入いただく必要はありません。本調査により個人が特定されることはありません。

【回答方法について】

- 本調査票に直接記入いただく方法のほか、パソコン、スマートフォン、タブレット等を使用してオンラインにより簡単に回答することもできます。
- ご回答は、数字を記入したり、選択肢を選んだりするようになっております。ご自身のことに最も近いと思われる選択肢の番号をご回答ください。

【返送・入力方法について】

- 本調査票に直接ご記入いただいた場合は、お手数ではございますが、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。切手は不要です。
- オンラインで回答される場合は、下記のURLを入力して回答ページにアクセスされるか、QRコード®※によりアクセスしてください。

URL <https://www.city.takehara.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/63>



※QRコード®は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- ◆**令和5年9月15日（金）まで**にご返送（ご回答）いただきますようお願いいたします。
調査票への記入かオンラインでの入力か、どちらか1つを選んでご回答ください。

【問い合わせ】

竹原市総務企画部企画政策課 TEL0846-22-0942（直通） 担当：平本、大川

2. 転出前後・転出時の状況について

問6まですべての方にお聞きします。

問3 転出前後の同居の家族の人数(あなたご自身も含めた人数)と子どもの状況についてご回答ください。

【竹原市にお住まいの時】※ご自身も含めて記入	【現在】※ご自身も含めて記入
家族の人数 () 人 その内 子ども () 人	家族の人数 () 人 その内 子ども () 人

問4 転出前後のお住まいについてご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

【竹原市にお住まいの時】	【現在】
1. 持ち家(一戸建て)	1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(マンションなどの集合住宅)	2. 持ち家(マンションなどの集合住宅)
3. 民間の賃貸(一戸建て)	3. 民間の賃貸(一戸建て)
4. 民間の賃貸(アパート、マンションなどの集合住宅)	4. 民間の賃貸(アパート、マンションなどの集合住宅)
5. 公営住宅(市・県営住宅)	5. 公営住宅(市・県営住宅)
6. 社宅、公務員住宅	6. 社宅、公務員住宅
7. その他()	7. その他()

問5 竹原市から転出されることになった理由についてご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

【ライフステージの変化に関する理由】	【住宅・住環境に関する理由】
1. 自分の大学等への進学・通学	1. 通勤時間に不満
2. 家族の進学・通学	2. 住宅に不満(家賃などが高かった)
3. 自分の就職・転職・転勤など	3. 住宅に不満(家族が増えるなど手狭になった)
4. 家族の就職・転職・転勤など	4. 住環境に不満(騒音、まちなぎのきれいさなど)
5. 親からの独立(ひとり暮らしなど)	5. 日常生活が不便(買い物や飲食・生活サービスなど)
6. 結婚(事実婚を含む)	6. 子育て環境に不満(こども園・保育所などが利用しづらい)
7. 妊娠・出産	7. 子育て環境に不満(自然や公園などの外遊び環境)
8. 子どもの出生・子どもの数の増加	8. 医療環境に不満
9. 子どもの入園・入学	9. 教育環境が整っていない(進学のための学校・塾など)
10. 持ち家の取得	10. 防犯・防災に不安
11. 親との同居・近居(子育ての支援を受けるため)	11. 知人・友人が近くにいない
12. 親との同居・近居(親の介護のため)	12. その他()
13. 親との同居・近居(「11.」「12.」以外の理由)	13. 特に不満はなかった
14. その他()	

問6 転出先を決める際に考慮されたことについてご回答ください。(考慮順に1~3位の枠内に番号を記入)

1. 家賃、住宅・土地の価格の適当さ	8. 充実した医療環境
2. 家の広さ、間取り、日当たりの良さなどの条件	9. 地域の教育環境のよさ(小・中学校の評判など)
3. 職場や自分の通う学校への近さ	10. 自然環境や公園の豊かさ(自然や公園などの外遊び環境)
4. 子どもが通う学校(こども園・保育所など含む)への近さ	11. 地域コミュニティとの関わりやすさ
5. 買い物や飲食・生活サービスなど日常生活の利便さ	12. 地域の防災、治安などの安心・安全面
6. 交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)	13. 親との同居・近居
7. こども園・保育所などの利用のしやすさ	14. その他()

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

3. 就業と地域選択について

問7 **現在働いている方、これまで働いたことがある方、また、これから就業希望がある方にお聞きします。**

高校や大学等の卒業後、初めて就業する地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望がありましたか。これから就業を希望される方は、現在の希望をご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | | | |
|------|-------------------------|--------------------------|------|
| 問8へ | 1. 竹原市で働きたかった | 4. 竹原市外で働きたかった | 問10へ |
| | 2. どちらかと言えば、竹原市で働きたかった | 5. 働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりは | |
| 問10へ | 3. どちらかと言えば、竹原市外で働きたかった | なかった | 問12へ |

問8 **問7で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

竹原市で働きたかった理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------|--|
| 問12へ | 1. 竹原市に就職したい企業、働きたい仕事があったから |
| 問9へ | 2. 働きたい仕事竹原市にあるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから |
| | 3. 竹原市にいたいと思っていたから |

問9 **問8で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから | 5. 就職したい企業を見つけるのは地元(竹原市)が有利になると思ったから |
| 2. 親の近くにいたいと思ったから | 6. 仕事をうまく進めたり、起業・開業したりするには、地元(竹原市)が有利になると思ったから |
| 3. 教師、友人や知人に勧められたから | 7. 就職後、結婚、子育てでメリットがあると思ったから |
| 4. 実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから | 8. その他() |

問10 **問7で「3.」または「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

竹原市外で働きたかった理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------|---|
| 問12へ | 1. 竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから |
| 問11へ | 2. 竹原市外に暮らしたい地域があったから |
| | 3. 働きたい仕事竹原市外にあるなら、できれば竹原市外に出たいという気持ちがあったから |
| | 4. 竹原市外に出たいと思っていたから |

問11 **問10で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから | 5. 仕事をうまく進めたり、起業・開業したりするには、竹原市外が有利になると思ったから |
| 2. 親元を離れたいと思ったから | 6. 就職後、結婚、子育てでメリットがあると思ったから |
| 3. 教師、友人や知人に勧められたから | 7. その他() |
| 4. 就職したい企業を見つけるのは竹原市外が有利になると思ったから | |

問12 **現在働いている方、これまで働いたことがある方にお聞きします。**

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、就業した地域は希望どおりでしたか。(○印は1つだけ)

- | | | |
|--------------------|---------------------------|------|
| 1. 希望どおり、竹原市で就業した | 3. 希望とは異なって、竹原市で就業した | 問13へ |
| 2. 希望どおり、竹原市外で就業した | 4. 希望とは異なって、竹原市外で就業した | |
| | 5. もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない | |

問13 **問12で「3.」または「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

希望どおりにならなかった理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 就職したい企業、働きたい仕事なかったから | 4. 経済的な事情から |
| 2. 自分を採用してくれる企業がなかったから | 5. その他 () |
| 3. 親の希望でやむを得なかったから | |

問14 **就業を機に竹原市から転出された方にお聞きします。**

もし、自分らしいと思える仕事や働きたい職種が竹原市にあれば、竹原市で暮らしてもよかったと思いますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. とてもそう思う | 4. どちらかと言えば、そう思わない |
| 2. そう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらかと言えば、そう思う | 6. 全くそう思わない |

4. 結婚と地域選択について

問15 **現在結婚している方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きします。**

結婚後に暮らし始める地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | | | |
|------|--|---------------------------------------|------|
| 問16へ | 1. 結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった) | 4. 結婚を機に竹原市外に出たかった | 問18へ |
| | 2. どちらかと言えば、結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった) | 5. 竹原市を転出しており、結婚を機に竹原市に戻りたいとは思っていなかった | |
| 問18へ | 3. どちらかと言えば、結婚を機に竹原市外に出たかった | 6. 結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった | 問20へ |

問16 **問15で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった)」理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 問20へ | 1. 竹原市に結婚する相手がいたから |
| 問17へ | 2. 結婚相手が見つかるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから |
| | 3. 竹原市にいたいと思っていたから |

問17 **問16で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから | 5. 結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあると思ったから |
| 2. 親の近くにいたいと思ったから | 6. 結婚後、出産や子育てでメリットがあると思ったから |
| 3. 友人や知人に勧められたから | 7. その他 () |
| 4. 実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから | |

問18 **問15で「3.」～「5.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

結婚後に竹原市外で暮らしたかった(戻りたいと思わなかった)理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------|---|
| 問20へ | 1. 結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから |
| 問19へ | 2. 竹原市外に暮らしたい地域があったから |
| | 3. 結婚相手が見つかるなら、できれば竹原市外に出たいという気持ちがあったから |
| | 4. 結婚を機に、竹原市外に出たいと思っていたから |

問19 **問18で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

1. 自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから	4. 結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあると思ったから
2. 親元を離れたいと思ったから	5. 結婚後、結婚や子育てでメリットがあると思ったから
3. 友人や知人に勧められたから	6. その他()

問20 **現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きします。**

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、結婚後に暮らし始めた地域は希望どおりでしたか。(○印は1つだけ)

1. 希望どおり、竹原市で暮らし始めた	3. 希望とは異なって、竹原市で暮らし始めた
2. 希望どおり、竹原市外で暮らし始めた	4. 希望とは異なって、竹原市外で暮らし始めた
	5. もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない

5. 結婚について

問23まですべての方にお聞きします。

問21 あなたご自身の結婚についてどのように考えられますか。結婚されたことがある方は、未婚のときを思い出してご回答ください。(○印は1つだけ)

未婚の方	結婚されたことがある方
1. すぐにでも結婚したい	1. ある程度の年齢までに結婚するつもりだった
2. ある程度の年齢までに結婚したい	2. 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚するつもりだった
3. 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい	3. 相手が見つかって、当分、結婚するつもりはなかった
4. 相手が見つかって、当分、結婚するつもりはない	4. 一生、結婚するつもりはなかった
5. 一生、結婚するつもりはない	5. その他()
6. その他()	

問22 ご自身の結婚について理想とする年齢がありますか。理想とする年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。(○印は1つだけ)

1. おおよそその理想がある(理想があった) 理想の年齢()歳	2. 特に理想はない(理想はなかった)
	3. 結婚するつもりはない(結婚するつもりはなかった)

問23 ご自身の結婚の見通し(結婚されたことがある方は実現状況)をご回答ください。(○印は1つだけ)

未婚の方	結婚されたことがある方
1. ほぼ、理想の年齢で結婚できそう	1. ほぼ、理想どおりの年齢であった
2. 理想の年齢よりも早くなりそう	2. もっと遅く結婚したかった
3. 結婚年齢に理想はないが、結婚できると思う	3. もっと早く結婚したかった
4. 理想の年齢よりも遅くなりそう	4. 結婚できそうにないと思っていた
5. 結婚できそうにない	5. 結婚するつもりはなかった
6. 結婚するつもりはない	

6. 子どもを持つことについて

問25まですべての方にお聞きします。

問24 希望する子どもの数は何人ですか。(○印は1つだけ)

1. 一人	3. 三人	5. 五人以上
2. 二人	4. 四人	6. 子どもはほしくない

問25 希望とは別に、現実には持っていると思う子どもの数は何人ですか。(○印は1つだけ)

1. 一人	3. 三人	5. 五人以上
2. 二人	4. 四人	6. 子どもを持つ予定はない

7. 竹原市について

問29まですべての方にお聞きします。

問26 あなたは、竹原市での暮らしにどの程度満足していましたか。次の①～⑳の項目について、選択肢からご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項 目	選 択 肢					
	満 足	ま ぁ 満 足	い え な い ど ち ら と も	や や 不 満	不 満	意 見 な し わ か ら な い
①賃貸住宅の条件（家賃の手ごろさ）	1	2	3	4	5	6
②賃貸住宅の条件（賃貸住宅の広さ）	1	2	3	4	5	6
③一戸建てなど持ち家の条件（価格など入手しやすさ）	1	2	3	4	5	6
④一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）	1	2	3	4	5	6
⑤一戸建てなど持ち家の条件（マンションなどの選択肢）	1	2	3	4	5	6
⑥通勤・通学時間	1	2	3	4	5	6
⑦仕事の見つけやすさ	1	2	3	4	5	6
⑧買い物の利便性（普段の買い物のしやすさ）	1	2	3	4	5	6
⑨買い物の利便性（大型商業施設での買い物のしやすさ）	1	2	3	4	5	6
⑩飲食店の利便性	1	2	3	4	5	6
⑪娯楽施設の利便性（映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ）	1	2	3	4	5	6
⑫交通利便性（鉄道・バスなどの利用のしやすさ）	1	2	3	4	5	6
⑬子育て環境（こども園・保育所などの利用のしやすさ）	1	2	3	4	5	6
⑭医療環境（安心して出産・子育てができる）	1	2	3	4	5	6
⑮教育環境（塾、習い事）	1	2	3	4	5	6
⑯教育環境（小学校、中学校）	1	2	3	4	5	6
⑰教育環境（高校）	1	2	3	4	5	6
⑱自然環境や公園の豊かさ（自然や公園などの外遊び環境）	1	2	3	4	5	6
⑲文化・スポーツ施設の充実度	1	2	3	4	5	6
⑳地域コミュニティとの関わりやすさ	1	2	3	4	5	6
㉑災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面	1	2	3	4	5	6

問27 あなたは、竹原市や、竹原市でお住まいだった地域に愛着はありますか。(○印は1つだけ)

1. ある	3. あまりない
2. まあまあある	4. ない

問28 総合的に見て竹原市は住みやすかったですか。(○印は1つだけ)

1. 住みやすかった	4. どちらかといえば住みにくかった
2. まあ住みやすかった	5. 住みにくかった
3. どちらともいえない	6. わからない

問29 竹原市にUターンする予定はありますか。(○印は1つだけ)

問30へ	1. ある	3. わからない	問31へ
問31へ	2. ない		

問30 **問29で「1.」に○印をつけた方にお聞きします。**

いつ竹原市に戻ることを予定していますか。(○印は1つだけ)

1. 就業するとき	5. 持ち家を取得するとき
2. 結婚するとき	6. 退職したとき
3. 子どもがこども園・保育所に入るとき	7. 家族の介護が必要となったとき
4. 子どもが小学校に入るとき	8. その他 ()

問31 **すべての方にお聞きします。**

竹原市のどのようところが改善されればより暮らしやすいと思いますか。(○印は3つまで)

1. 賃貸住宅の条件(家賃の手ごろさ)	12. 交通利便性(鉄道・バスなどの利用のしやすさ)
2. 賃貸住宅の条件(賃貸住宅の広さ)	13. 子育て環境(こども園・保育所などの利用のしやすさ)
3. 一戸建てなど持ち家の条件(価格など入手しやすさ)	14. 医療環境(安心して出産・子育てができる)
4. 一戸建てなど持ち家の条件(持ち家の広さ)	15. 教育環境(塾、習い事)
5. 一戸建てなど持ち家の条件(マンションなどの選択肢)	16. 教育環境(小学校、中学校)
6. 通勤・通学の時間	17. 教育環境(高校)
7. 仕事の見つけやすさ	18. 自然環境や公園の豊かさ(自然や公園などの外遊び環境)
8. 買い物の利便性(普段の買い物のしやすさ)	19. 文化・スポーツ施設の充実度
9. 買い物の利便性(大型商業施設での買い物のしやすさ)	20. 地域コミュニティとの関わりやすさ
10. 飲食店の利便性	21. 災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面
11. 娯楽施設の利便性(映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ)	22. その他()

◆ 最後に、竹原市のまちづくりや少子化対策、定住対策についてのご意見・ご提言がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、令和5年9月15日(金)までに、ポストに投函してください。

(切手は不要です。また、お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。)